

# 令和4年度 第2回 河北町立小学校のあり方検討委員会

日時 令和4年8月31日（水）  
午後6時～

場所 河北町役場  
3階 301会議室

## 次 第

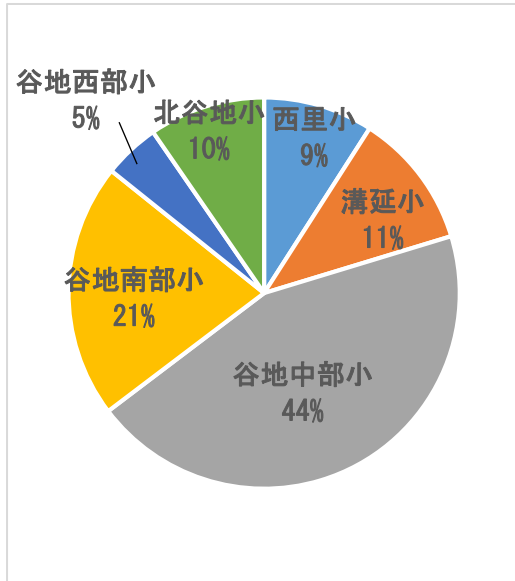
- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 委員長あいさつ
- 4 報 告  
アンケート結果について
- 5 グループ討議
- 6 その他
- 7 閉 会

町内小学校の今後のあり方や将来像について

# アンケート調査報告

(全体概要)

## アンケートの実施対象者について



- 実施期間 R4年7月1日～7月31日
- 実施対象
  - 1 就学前のお子さんのみを持つ保護者
  - 2 小・中学校で一番上のお子さんを持つ保護者
  - 3 町内各区3名（各区长より抽出）
- 調査方法
 

対象1・3	無記名 選択式・記述式 調査用紙回答
対象2	無記名 選択式・記述式 オンライン回答
- 調査数 1409 件
  - 回答件数（率） 930 件（66.0%）
  - 回答者学区
 

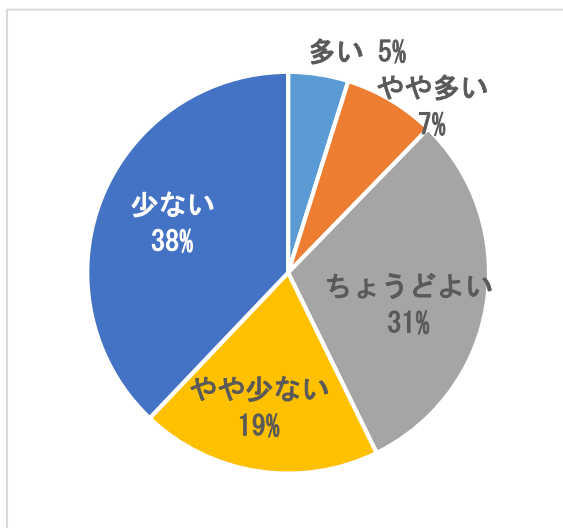
・西里小	84 件	・溝延小	104 件
・谷地中部小	411 件	・谷地南部小	195 件
・谷地西部小	43 件	・北谷地小	89 件
  - ※無回答 4 件

問 あなたの居住区小学校の現在の児童数について、どのようにお考えですか。  
 （「令和4年5月1日現在の河北町立小学校の児童数」を参考にしてください） 【1つ選択】

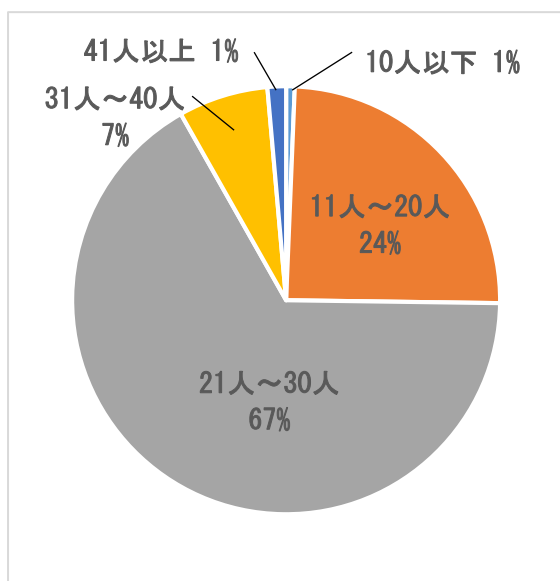
### 河北町立小学校の児童数

基準日 R4.5.1

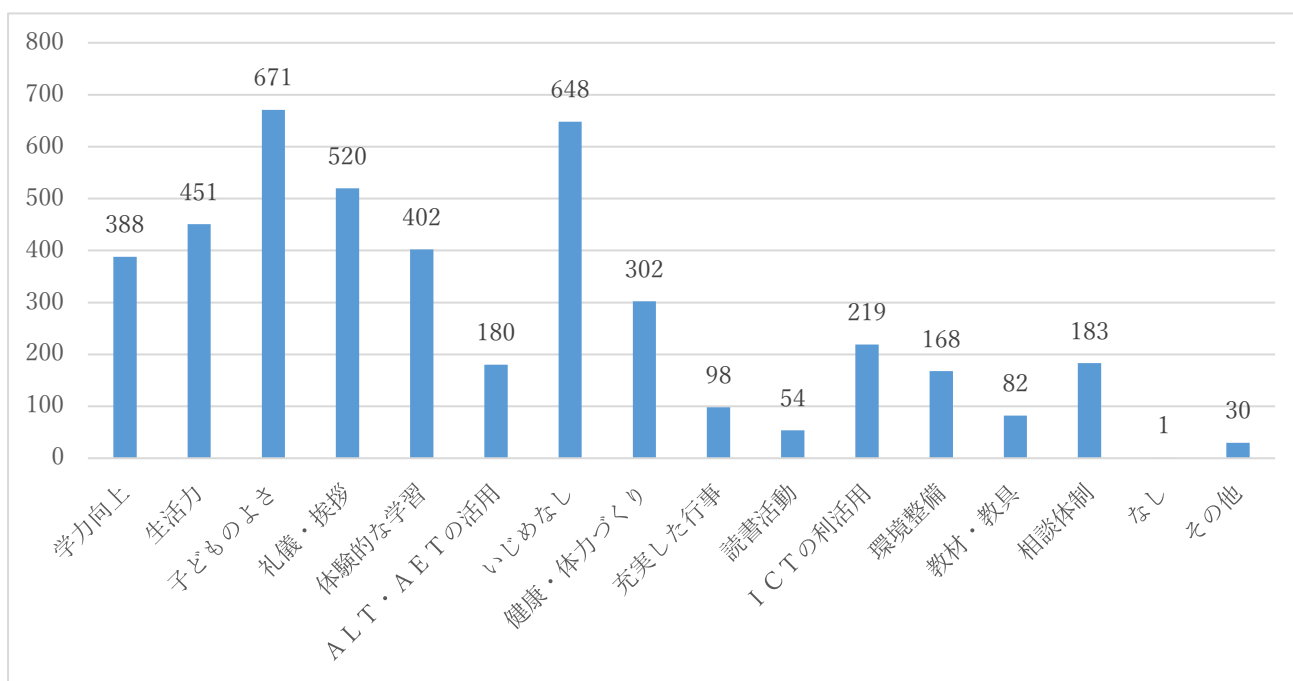
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	学校毎合計
西里小学校	17	11	14	11	22	9	84
溝延小学校	12	7	14	10	12	14	69
谷地中部小学校	75	61	75	56	57	60	384
谷地南部小学校	24	27	26	22	34	26	159
谷地西部小学校	4	4	7	5	6	6	32
北谷地小学校	7	12	10	10	17	10	66
学年毎合計	139	122	146	114	148	125	794



問 小学校の1学級で望ましい児童数は、何人程度とお考えですか。【1つ選択】



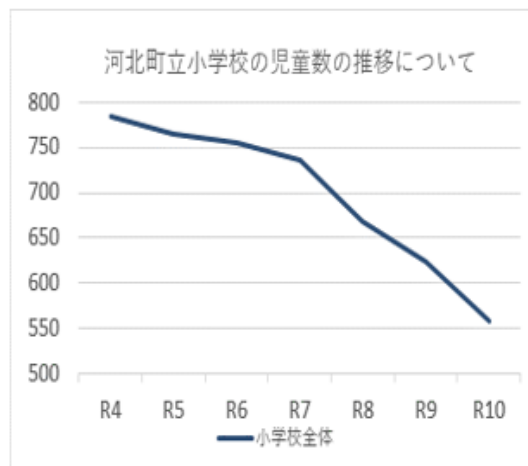
問 子どもにとって、望ましい学校はどんな学校だとお考えですか。【5つまで選択可】



問 町内の小学校が将来より望ましい教育を行えるようにするために、学区の見直しや小学校の統廃合等に向けた検討が必要だとお考えですか。（「今後の河北町立小学校ごとの児童総数の推移」を参考にしてください）。【1つ選択】

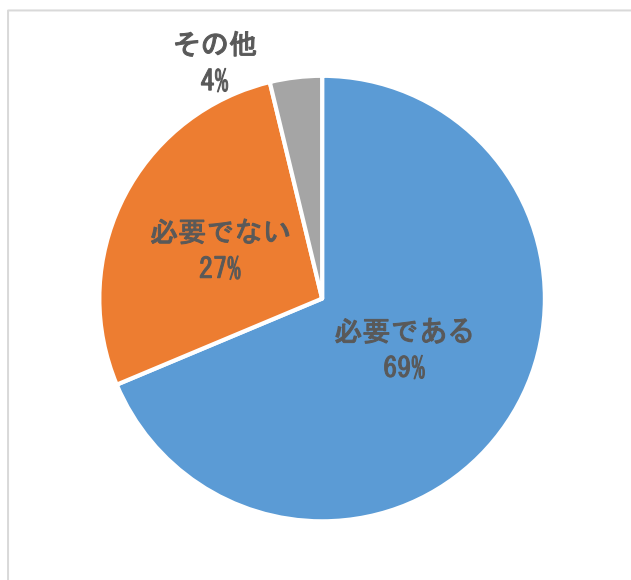
今後の河北町立小学校ごとの児童総数の推移 基準日 R4.5.1

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
西里小学校	84	85	73	65	57	54	42
溝延小学校	69	68	71	67	62	62	60
谷地中部小学校	384	367	376	373	331	304	256
谷地南部小学校	159	152	152	153	149	148	146
谷地西部小学校	32	30	30	31	27	23	21
北谷地小学校	66	63	53	47	42	33	32
小学校全体	794	765	755	736	668	624	557



○表の色付き(太字)のところは複式学級の出現を表します。北谷地小は令和6年度から、西里小は令和8年度から、溝延小は令和9年度から複式学級が出現します。

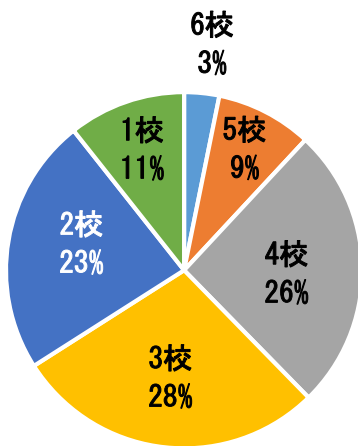
※複式学級とは、他の学年の児童と合わせて16人以下のときは、1学級となり1人の教師で2つの学年を指導します。但し、1年生を含むときは8人以下となります。



<その他の意見>

- ・わからない
- ・学区の見直し
- ・義務教育学校でアピール
- ・児童数に差がありすぎる
- ・検討するためのデータが足りない
- ・人数によるメリット、デメリットは
- ・統合は必要だが、地区に学校は必要
- ・町が決めること
- ・少人数と統廃合を一緒に考えることに問題がある
- ・人数で考えると1校、しかし地域とのかかわりも検討すべき
- ・子どもの学習環境が優先だが、地区に学校は必要である
- ・他市町と連携する
- ・通学距離が問題

問 「必要である」と答えた方に伺います。河北町全体で将来の学校像は何校と考えますか。また、その理由を書いてください。

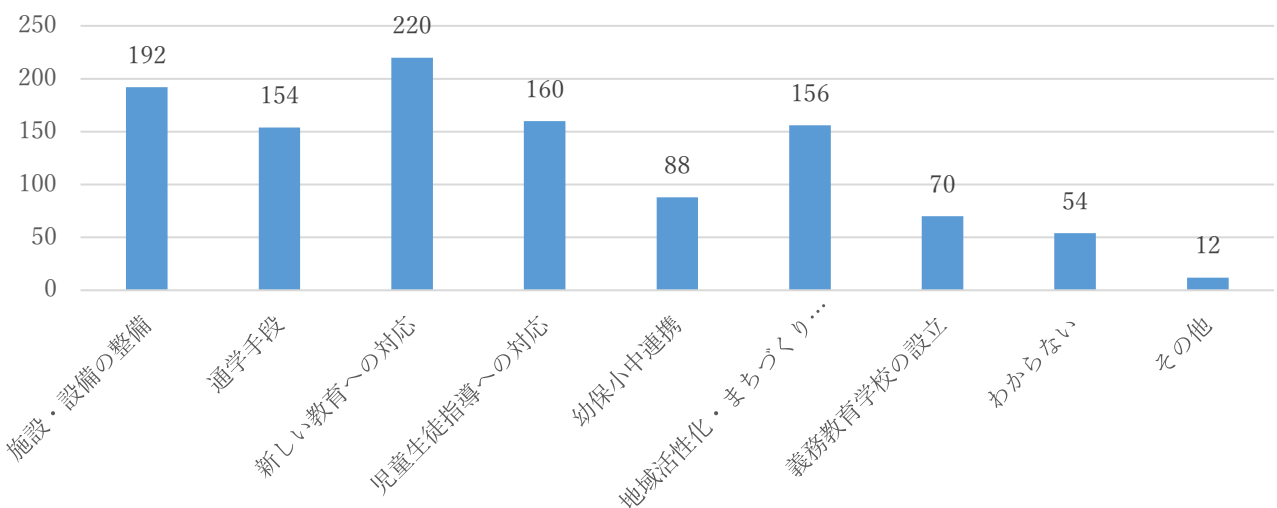


6校：学区の見直し 人数の平均化 少人数学級編成 特認校  
6校でも少ない 地域に学校は必要 学区の見直し

5校：西部小と北谷地小の統合 徐々に合併 50人以下は合併  
複式解消 通学距離 小中のギャップ 学校の維持費  
中部小と西部小の統合

4校・3校・2校：1校  
地域性を考慮した統合 クラス替えができる学級規模  
人間関係の固定化 複式の解消 人数の偏りをなくす  
多様性を高める指導 スクールバスの活用 教育資源  
の集中（人・物・金） 施設の維持管理費 集団での学  
びの確保 互いに高めあえる環境を作る 1学年2学級  
は必要 同一学年での教育活動の充実 幅の広い人間  
関係 中学校進学への不安 小中一貫校（中学校建設に  
合わせて併設）・義務教育学校 PTA 活動 切磋琢磨 社  
会性の向上 止まらない少子化 将来的には1校 令和  
20年を見据えて

問 「必要でない」と答えた方に伺います。これからの町内小学校の望ましいあり方を検討するた  
めに、特に重視すべき点はどのようなことであるとお考えですか。【3つまで選択可】



問 その他、河北町立小学校のあり方全般についてお考えがあればお聞かせください。

未就学児・小中学校・地域の方別集計参照

町内小学校の今後のあり方や将来像について

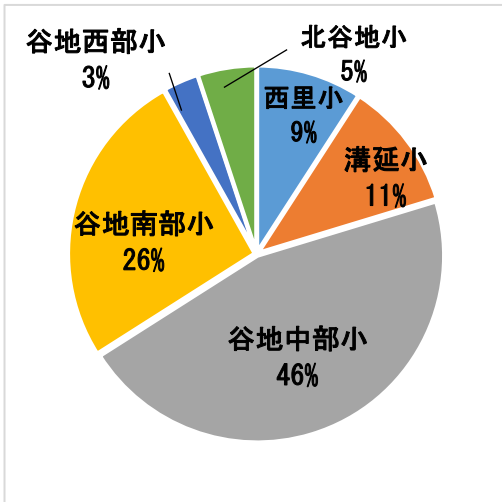
# アンケート調査報告

(未就学児・小中学校・地域の方別集計)

河北町教育委員会 学校教育課

## アンケートの実施対象者について

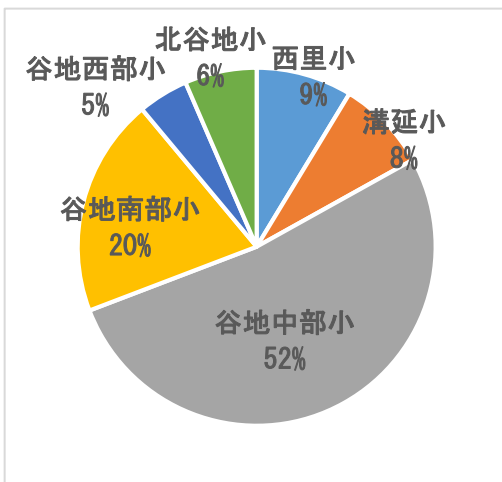
### <未就学児保護者>進学予定学区



- 実施期間 R4年7月1日～7月31日
- 実施対象 ○就学前のお子さんのみを持つ保護者
- 調査方法 ○無記名 選択式・記述式  
調査用紙回答
- 調査数 218 件
  - 回答件数 (率) 202 件 (92.6%)
  - 回答者学区
 

・西里小	18 件	・溝延小	22 件
・谷地中部小	91 件	・谷地南部小	51 件
・谷地西部小	6 件	・北谷地小	10 件
  - ※無回答 4 件

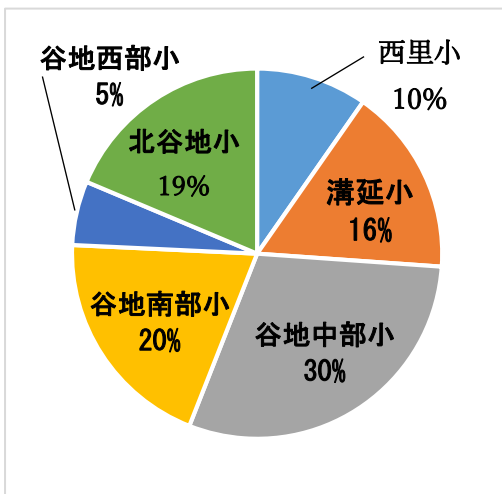
### <小中学校保護者>在学中・卒業小学校学区



- 実施期間 R4年7月1日～7月31日
- 実施対象 ○小・中学校で一番上のお子さんを持つ保護者
- 調査方法 ○無記名 選択式・記述式  
オンライン回答
- 調査数 867 件 (小学校 445 件、中学校 422 件)
  - 回答件数 (率) 461 件 (53.2%)
  - 回答者校種別
 

・小学校	283 件 (61.4%)
・中学校	178 件 (42.2%)

### <地区の方>



- 実施期間 R4年7月1日～7月31日
- 実施対象 ○町内各区3名 (各区長より抽出)
- 調査方法 ○無記名 選択式・記述式  
調査用紙回答
- 調査数 324 件
  - 回答件数 (率) 267 件 (82.7%)
  - 回答者年代
 

・50歳代以下	86 件 (32.1%)
・60歳代	93 件 (34.7%)
・70歳代以上	89 件 (33.2%)
  - 同居または親族に小学生以下の子ども
 

・あり	110 件 (41.0%)	・なし	158 件 (59.0%)
-----	---------------	-----	---------------



問 あなたの居住区小学校の現在の児童数について、どのようにお考えですか。

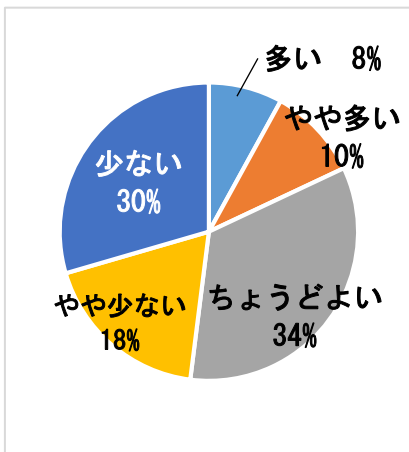
(「令和4年5月1日現在の河北町立小学校の児童数」を参考にしてください) 【1つ選択】

河北町立小学校の児童数

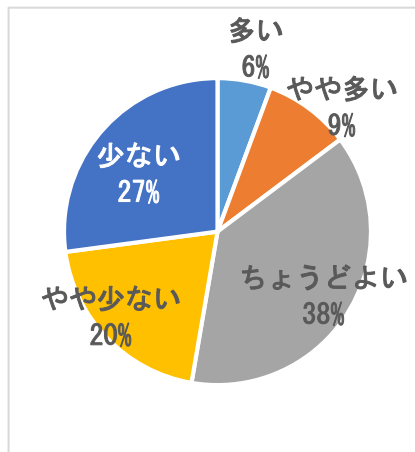
基準日 R4.5.1

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	学校毎合計
西里小学校	17	11	14	11	22	9	84
満延小学校	12	7	14	10	12	14	69
谷地中部小学校	75	61	75	56	57	60	384
谷地南部小学校	24	27	26	22	34	26	159
谷地西部小学校	4	4	7	5	6	6	32
北谷地小学校	7	12	10	10	17	10	66
学年毎合計	139	122	146	114	148	125	794

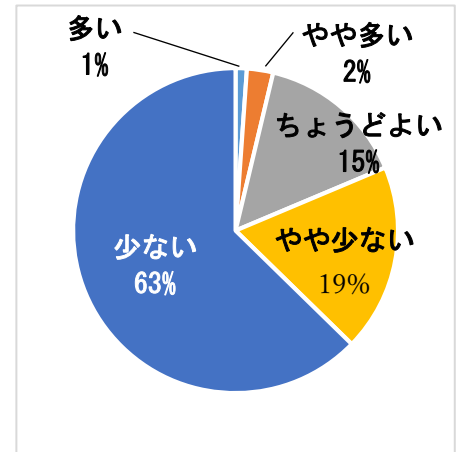
<未就学児保護者>



<小中学校保護者>

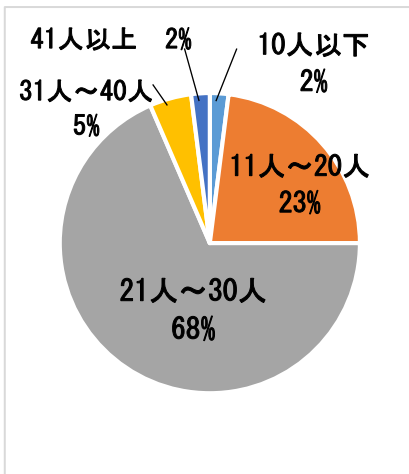


<地域の方>

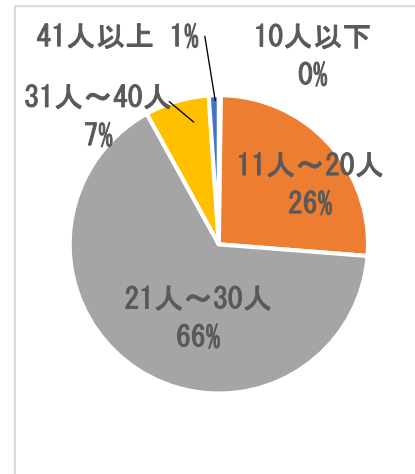


問 小学校の1学級で望ましい児童数は、何人程度とお考えですか。【1つ選択】

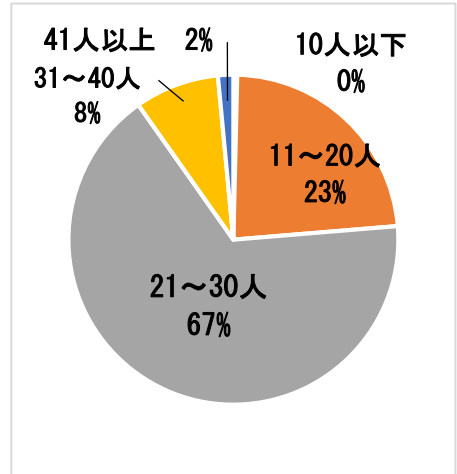
<未就学児保護者>



<小中学校保護者>

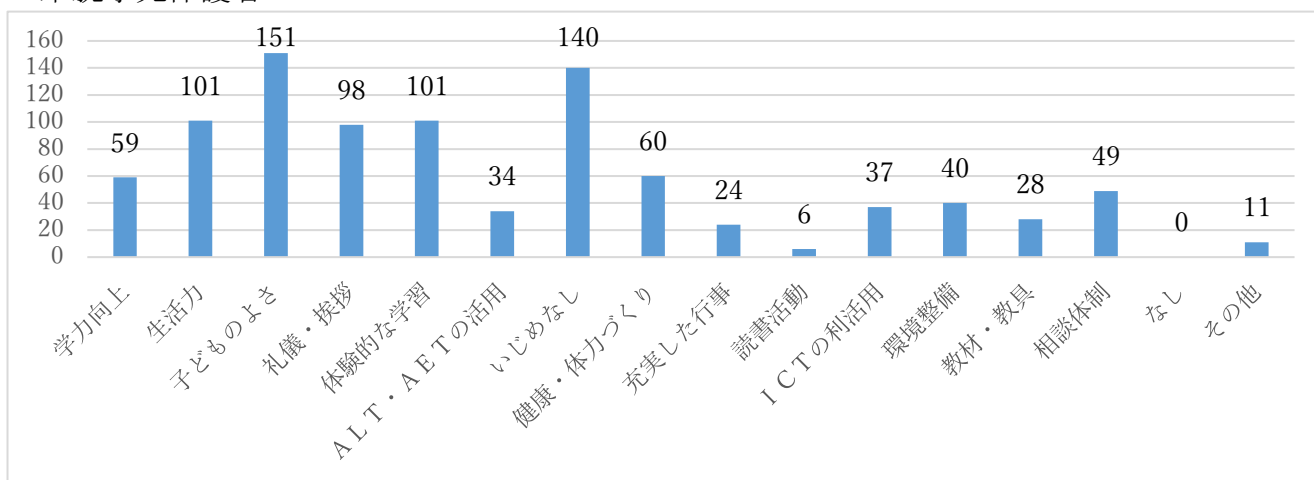


<地域の方>

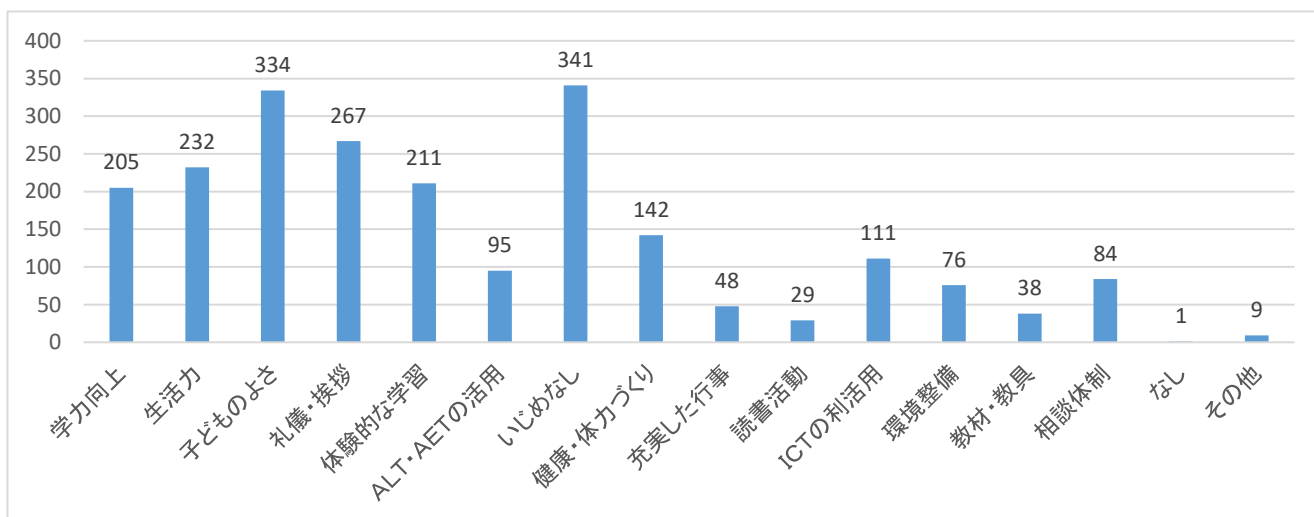


問 子どもにとって、望ましい学校はどんな学校だとお考えですか。【5つまで選択可】

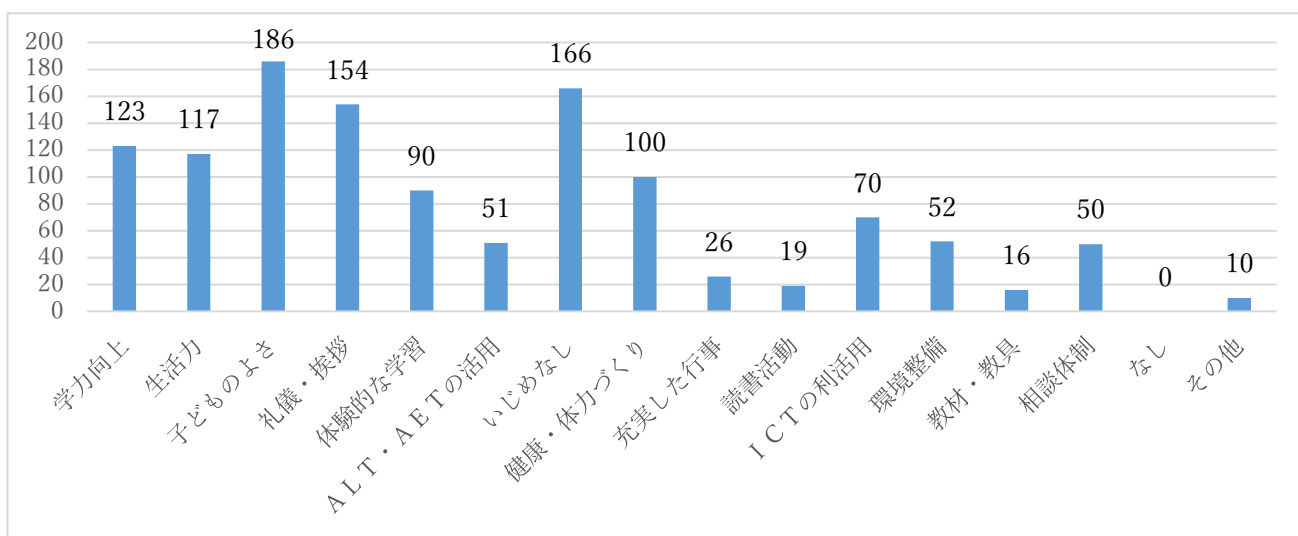
<未就学児保護者>



<小中学校保護者>

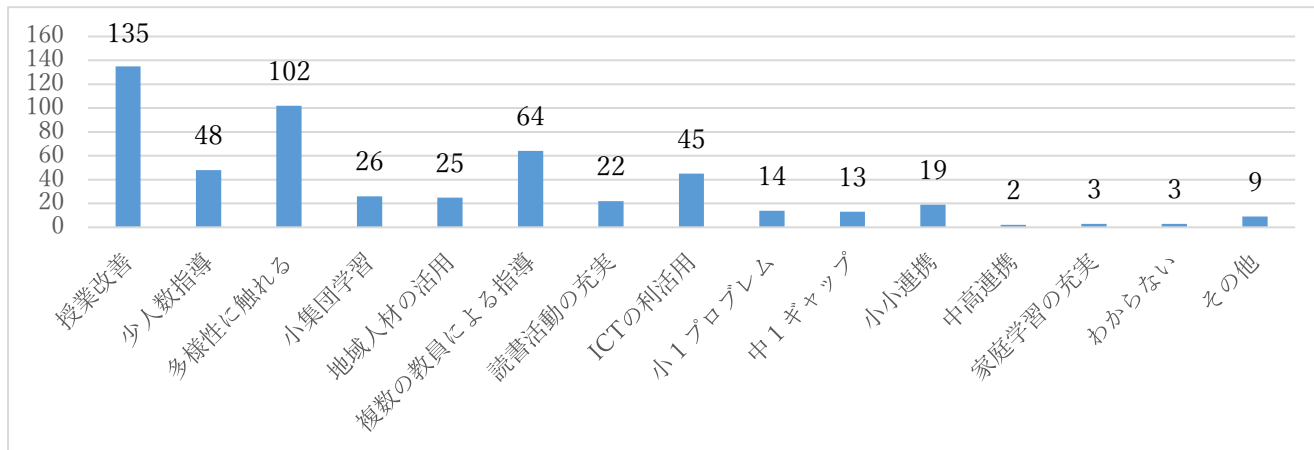


<地域の方>

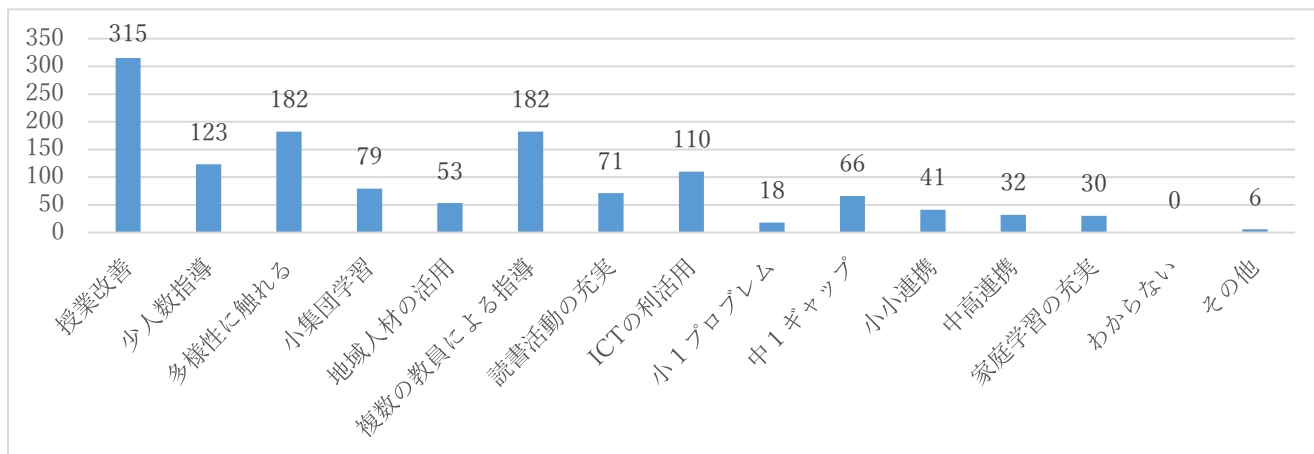


問 学校教育で「学力」を高めるためにどのような取り組みが重要だと思いますか。  
【3つまで選択可】

<未就学児保護者>

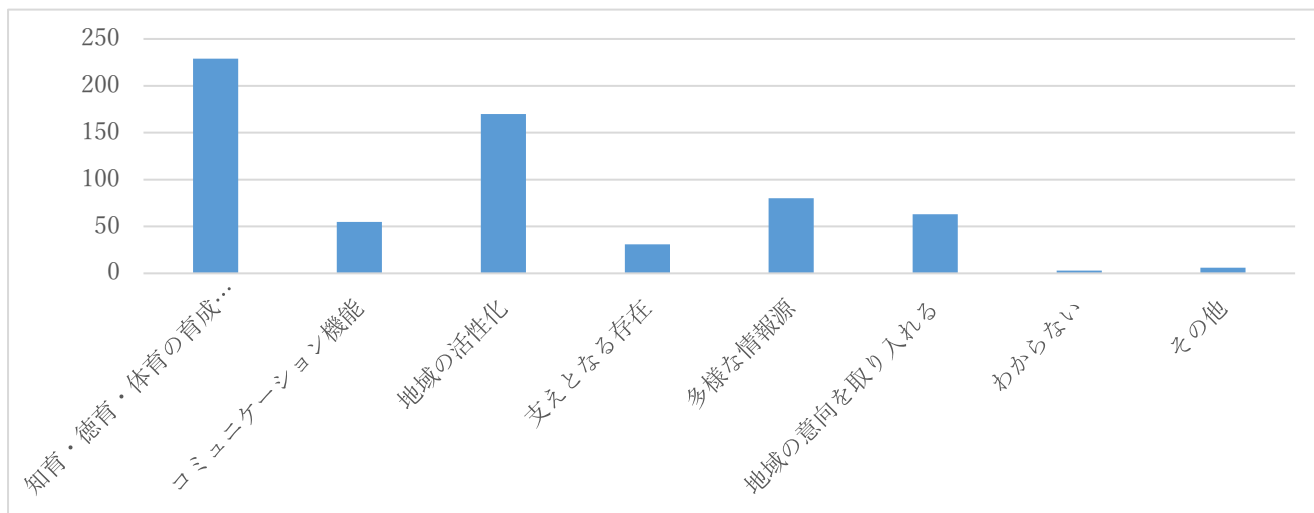


<小中学校保護者>



問 あなたにとって地域の小学校はどのような存在とお考えですか。【3つまで選択可】

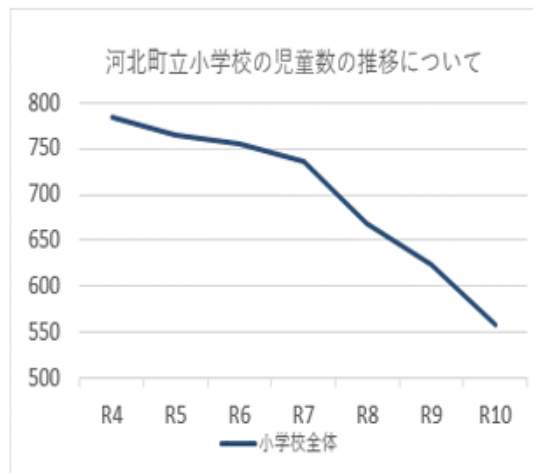
<地域の方>



問 町内の小学校が将来より望ましい教育を行えるようにするために、学区の見直しや小学校の統廃合等に向けた検討が必要だとお考えですか。（「今後の河北町立小学校ごとの児童総数の推移」を参考にしてください）。【1つ選択】

今後の河北町立小学校ごとの児童総数の推移 基準日 R4.5.1

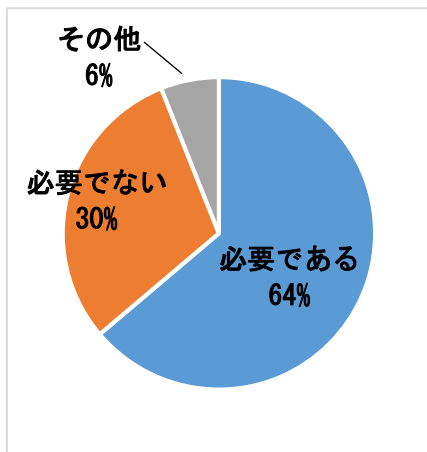
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
西里小学校	84	85	73	65	57	54	42
満延小学校	69	68	71	67	62	62	60
谷地中部小学校	384	367	376	373	331	304	256
谷地南部小学校	159	152	152	153	149	148	146
谷地西部小学校	32	30	30	31	27	23	21
北谷地小学校	66	63	53	47	42	33	32
小学校全体	794	765	755	736	668	624	557



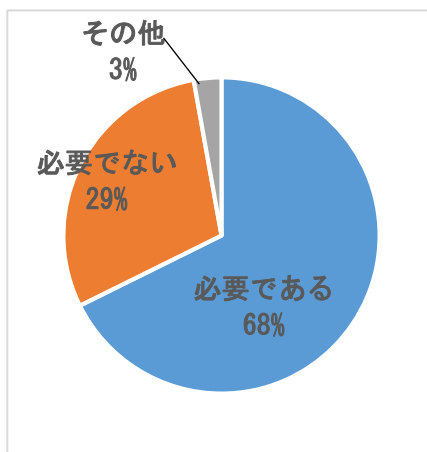
○表の色付き(太字)のところは複式学級の出現を表します。北谷地小は令和6年度から、西里小は令和8年度から、満延小は令和9年度から複式学級が出現します。

※複式学級とは、他の学年の児童と合わせて16人以下のときは、1学級となり1人の教師で2つの学年を指導します。但し、1年生を含むときは8人以下となります。

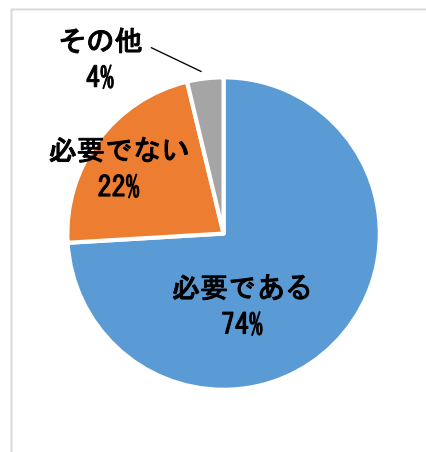
<未就学児保護者>



<小中学校保護者>



<地域の方>



<その他の意見>

- ・わからない
- ・学区の見直し
- ・義務教育学校でアピール
- ・児童数に差がありすぎる
- ・検討するためのデータが足りない 人数によるメリット、デメリットは
- ・統合は必要だが、地区に学校は必要
- ・町が決めること 等

<その他の意見>

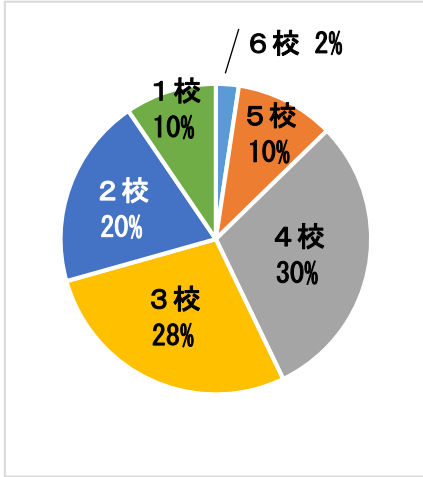
- ・よくわからない
- ・他市町と連携する
- ・メリット、デメリットは
- ・決め難い
- ・少人数で学校運営ができれば要検討
- ・小学校の細分化
- ・通学距離が問題
- ・児童数の情報だけでは 等

<その他の意見>

- ・少人数と統廃合を一緒に考えることに問題がある
- ・人数で考えると1校、しかし地域とのかかわりも検討すべき
- ・メリット、デメリットがわからない
- ・子どもの学習環境が優先だが、地区に学校は必要である
- ・わからない 等

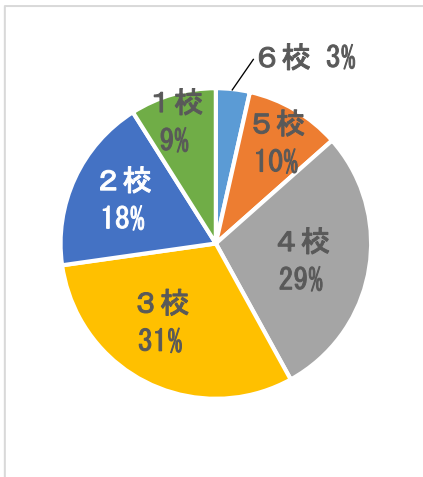
問 「必要である」と答えた方に伺います。河北町全体で将来の学校像は何校と考えますか。また、その理由を書いてください。

<未就学児保護者>



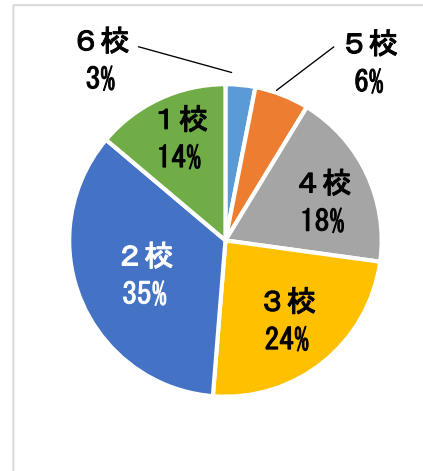
6校：6校でも少ない  
 5校：西部小と北谷地小の統合 徐々に合併 50人以下は合併  
 4校：クラス替えができる学級規模 複式の解消 人数の偏りをなくす 多様性を高める指導 スクールバスの活用  
 3校・2校・1校  
 教育資源の集中（人・物・金） 施設の維持管理費 集団での学びの確保 互いに高めあえる環境を作る 1学年2学級は必要 同一学年での教育活動の充実 幅の広い人間関係 中学校進学への不安 スクールバスの活用 小中一貫校・義務教育学校 PTA活動

<小中学校保護者>



6校：学区の見直し 人数の平均化 少人数学級編成 特認校  
 5校：西部小と北谷地小の統合 複式解消 通学距離 小中のギャップ 学校の維持費  
 4校・3校・2校：1校  
 教育資源の集中（人・物・金） 施設の維持管理費 同一学年の学級編成 クラス替えが必要 1学年2学級は必要 小中のギャップ 多様性ある教育 切磋琢磨 社会性の向上 止まらない少子化 スクールバスの活用 小中一貫校（中学校建築に合わせて併設）・義務教育学校 将来的には1校 令和20年を見据えて

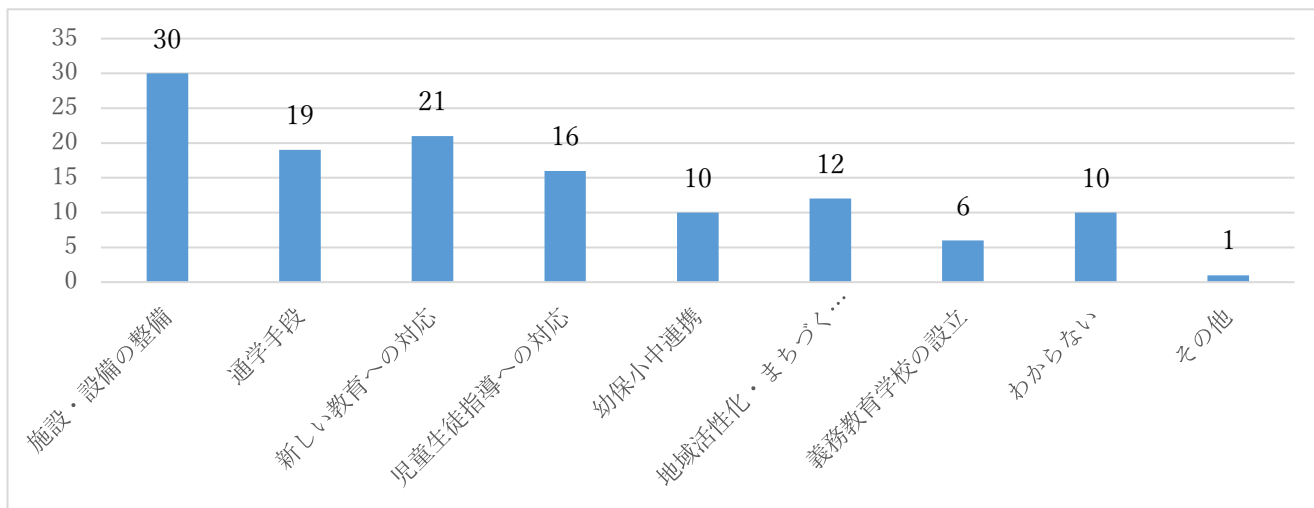
<地域の方>



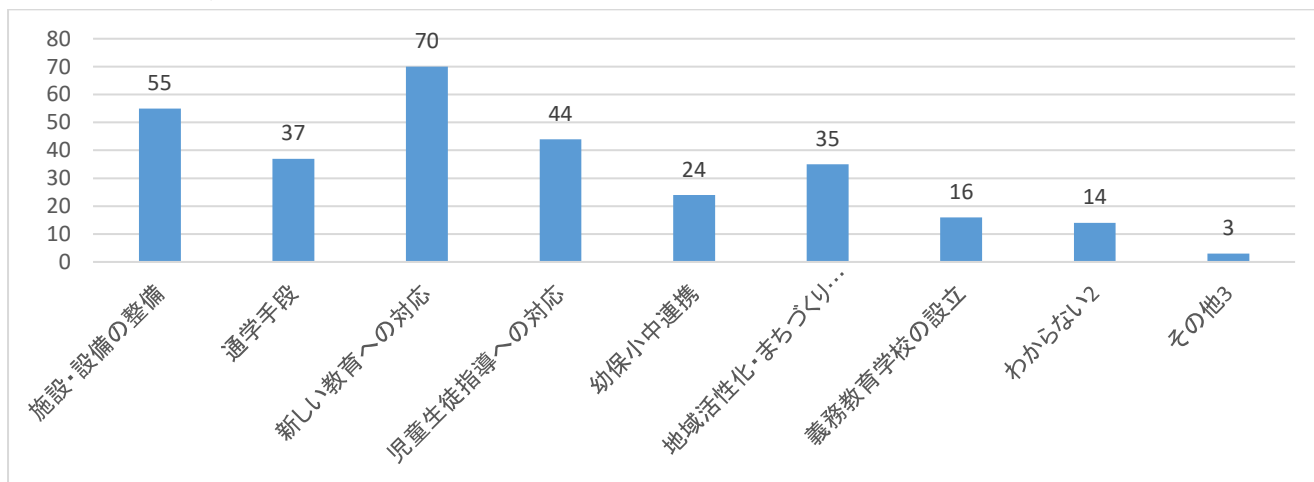
6校：地域に学校は必要 学区の見直し  
 5校：中部小と西部小の統合 西部小と北谷地小の統合  
 4校・3校・2校  
 地域性を考慮した統合 多様性に触れ、集団の学びの確保 互いに高めあえる環境を作る 1学年2学級は必要 同一学年での教育活動の充実 複式学級での学習に不安 人間関係の固定化 中学校進学への不安 スクールバスの活用 少子化は止まらない 教育資源の集中（人・物・金） 施設の維持管理費  
 1校：小中一貫校 教育資源の集中（人・物・金）

問 「必要でない」と答えた方に伺います。これからの町内小学校の望ましいあり方を検討するために、特に重視すべき点はどのようなことであるとお考えですか。【3つまで選択可】

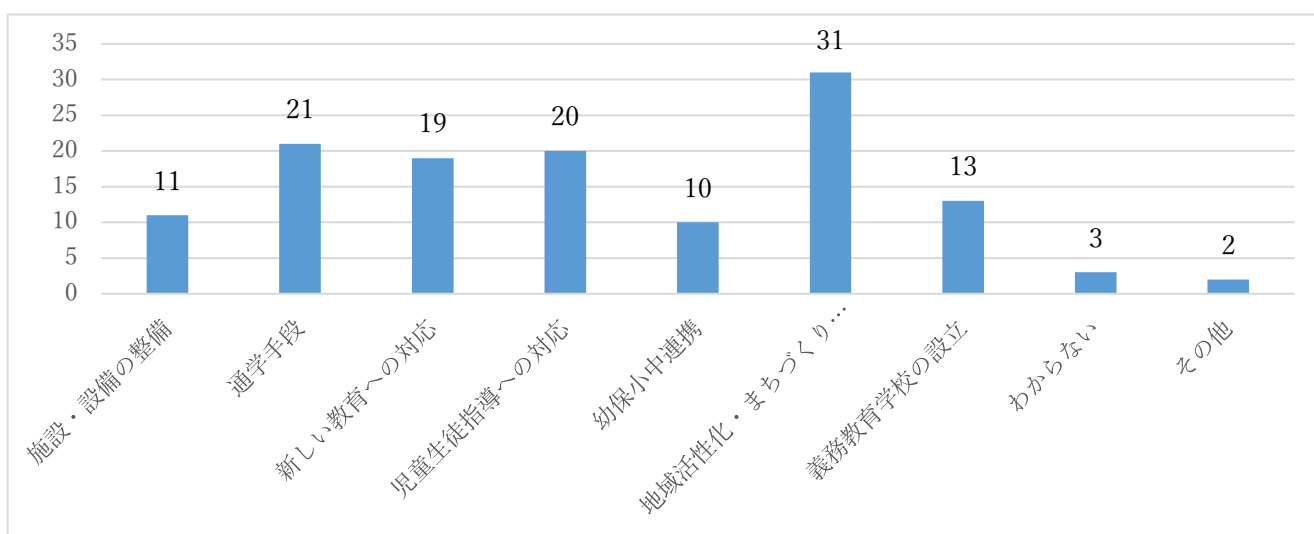
<未就学児保護者>



<小中学校保護者>



<地域の方>



問 その他、河北町立小学校のあり方全般についてお考えがあればお聞かせください。

### <未就学児の保護者>

#### <行政・教育行政に関すること>

人口減少・少子化対策（3） 将来を見据えた統合（2） 転入者増の取組 町の人口減少・少子化対策 若い方々の考えに沿った政策決定 魅力ある街づくり 若い方が議員 河北独自の教育政策 学童の連携・充実（2） 費用対効果

#### <学校教育に関すること>

個に応じた指導の充実（3） 主体性を引き出す教育（2） 体験的な学習（2） 自己肯定感を高める教育（2） のびのび育つ教育 子供の実態に合った教育 地元の良さを生かす教育 少人数教育 変化する時代に対応できる教育 前例にとらわれない取り組みを 発達障がい起因とするいじめの防止、安心・安全な学校（5） 沢山のひとにかかわって多様な考え方に触れる・学べる学校（3） 平等な学校（2） 基礎学力をつける学校 学校行事の減少 学校間交流 （5） 厳しい学校では成り立たない 町立学校の良さを発信 熱中症対策・紫外線対策

#### <教員等に関すること>

先生方の研修機会の充実確保 先生方のゆとり（2） 子ども好きな先生がたくさんいる学校

#### <統合方法に関すること>

早期決着（3） メリット・デメリットを丁寧に説明 先を見通し他対応が必要。早急に統合 校舎の建替えも含めて検討 義務教育学校が良い 2学級を確保する。1町1校にはしてほしくない時代に合ったあり方 学区の再編成 統合しない選択肢はない

#### <教育環境に関すること>

スクールバスの活用（6） 通学・通学距離の不安、安全確保（4） 少人数でより主体的になれる環境を 教員の目が届きやすい 少人数学級も多学級もよさがある 平等な教育環境 おいしい給食 学年ごと授業が大切 6年間同じ学級では、幅ができない。たくさんの友人と知り合えたほうが良い 複式に賛成 のびのび育つ環境づくり

#### <その他>

親に対する教育も必要 学校も家庭もチームで取り組めることが必要 近くに小学校がないのは不便 小学校入学を楽しみにしている 他地区の児童もどんが祭りに参加させてほしい

### <小中学校保護者>

#### <行政・教育行政に関すること>

魅力ある街づくり（10） 子育てしやすい環境を（8） 人口減少・少子化対策（8） 行政のこれまでの対応（6） 維持管理費（4） 教育予算の集中（2） 小学校の活用法（3） 図書館の充実 放課後塾 家庭支援 特認校

#### <学校教育に関すること>

楽しい・いきいき・のびのびできる学校（19） 個性を伸ばす教育・特性を生かす教育（17） 社会性・多様性を育む教育（17） 発達障がいへの理解・対応（4） 互いに磨きあう教育（5） 主体性を伸ばす教育（4） 魅力ある学校づくり（5） 時代に合った教育（5） 他校との交流 学習・学校間の連携（21） ICTの活用（9） 語学学習の充実（5） 道徳教育の充実 挨拶・礼儀を教える（4） 郷土愛の醸成（2） 協働学習の充実 学年間交流 体力向上 キャリア教育の充実（3） 学校行事の充実・再開（8） いじめのない、安心安全な学校（30） 思いやりをはぐくむ教育（4） 探究学習の充実（3） 学力向上（2） 基礎学力の定着 TT 補充的な学習 グローバルな教育（2） 伝統行事・地域との連携（8） 授業参観を増やしてほしい（2） 社会に開かれた学校 課外活動の充実 部活動の時間 土曜日授業

#### <教員等に関すること>

先生方のゆとりの創出（適正規模・適正配置）（7） 教員の資質向上（5） 先生方の業務量のバランス（2） 専科教員の配置 差のない学習内容・指導 業務改善 教員の多忙化の改善

<統合方法に関すること>

メリット・デメリット(14) 早期対応・避けて通れない(10) 今後を見据えて1校に(5) 小中一貫校・義務教育学校(7) 小中併設(2) 新校舎建設 町の総力を挙げた学校 前向きに検討(2) 町の規模に対し学校数が多い(2) 学区再編(10) 学区の廃止(2) 学区外就学(2) 適正学校・適正規模(4) 教育の機会均等(3) 学校間の学力差(3) 複式の解消 子どもの環境を考えた環境づくり(8) 小規模校の統合(3) 児童数の多い学校から小規模校に 地域の理解若い方の意見を 子供の意見も聞く 丁寧な議論 歴史的な背景を重視 統合後も地域と連携した取り組みを継承 西部・中部の統合(2) 中部・南部以外の統合 中部・西部・北谷地と南部・溝延・西里の統合 西部・西里・北谷地の統合

<教育環境に関すること>

通学手段の充実・安全確保(20) 小中の環境の変化に対する対応(6) 教育相談体制の充実(4) 学区外通学(2) 友人と切磋琢磨できる環境づくり(2) 力を発揮できる環境 教育環境の整備 子どもが地域に密着し交流できる環境づくり 統合による設備の集中 空き教室の活用 小中一貫だと環境に変化がない 教育水準の維持 教育資源の集中 複数学級の解消 同一学年での授業 学校規模で取組める運動に差がある 幼稚園保育園の統合に合わせた取り組み

<その他>

タブレットの弊害(3) 小規模だと保護者の負担増になる 地域の良さを生かす 豆奴など他地区の子供に広げる 学校は様々対応いただいている

<地域の方>

<行政・教育行政に関すること>

魅力ある街づくり(7) 少子化対策(3) 経費削減・税収減(3) 検討の遅れが問題(2) 小学校の活用法 行政主導で決定する

<学校教育に関すること>

沢山の人ののかかわりを学ぶ・多様性・思いやり(6) 子どもが楽しい学校(4) 教育課程の工夫・特色ある・体験的学習(4) 学年ごとの活動を充実(3) いじめのない安心・安全な学校(3) 学習集団の確保(3) 確かな学力 心豊かな教育 個性を伸ばす教育 集団で育つ力 ニーズに合った学校教育 異文化交流 中学生の地域貢献活動の推進 学校間の交流 幼保小の連携 学校・家庭・地域の連携

<教員等に関すること>

教員の業務軽減(2) 教員の適正配置 学校組織の充実

<統合方法に関すること>

速やかな統合(13) 地域の元気・学校づくり・連携・理解(13) 学区再編(5) 慎重に検討(4) 義務教育学校で新校舎 小中一貫校(3) メリット・デメリット(3) 子供の立場で考える(3) 統合される学校への配慮(2) 谷地高との連携、谷地高を含めた再編(2) 西里・西部・北谷地の統合、溝延・南部の統合。学校の現状維持(2) 若い方の意見を聞く(2)

<教育環境に関すること>

通学手段の充実・安全確保(17) 少人数学級・小規模校の良さ(3) 複数学級による教育活動 小中の学校規模・環境の違い(3) 小規模学校から中学校への進学不安 教育環境・ICTの充実(3) 教育の機会均等(2) 複式を解消(2) 学校間の格差 給食センターの併設

<その他>

地域間交流(2) 家庭教育の充実 小学校は地域の学校





# 河北町立小学校のあり方検討委員会

## ＜補足資料＞

- 1 少人数学級のメリット・デメリット
- 2 学校施設と児童数・教員数
- 3 町立小学校管理運営費に係る経費の推移

## ＜グループ討議について＞

## ＜今後のスケジュール＞

令和4年8月31日（水）18:00～

河北町役場301

河北町教育委員会学校教育課



# 1 少人数学級のメリット・デメリット①

## <指導面>

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 個々の学習状況等を把握しやすく、決め細やかな指導が行われやすい。</li><li>・ 子どもの発表する機会が多くなる。</li><li>・ リーダー的役割を担う機会が多くなる。</li><li>・ 異年齢集団での学習機会が増える。</li><li>・ 少人数を生かした学習活動が展開できる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学級替えができないことによる人間関係の固定化が懸念される。教員の多層的な指導。</li><li>・ 教員数が少ない為、行事やクラブ活動等が限定される。</li><li>・ 体育や音楽等で集団学習に制約がでる（人数・男女比）。</li><li>・ 多様な考えに触れて考える学習を設定しにくい。</li><li>・ 中学校とのギャップが大きくなる。</li></ul>



## 2 少人数学級のメリット・デメリット②

### <施設・設備面>

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"><li>• 運動場や体育館、特別教室などを十分に活用できる。</li><li>• 同一予算でも一人にかかる金額が多くなる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 少人数による清掃など、日々の負担が大きい。</li><li>• 施設修繕の工事に費用がかかる。</li></ul>



# 1 少人数学級のメリット・デメリット③

## <学校運営面>

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"><li>・情報共有がスムーズに行える。</li><li>・教育課題について活発に議論したり取り組んだりすることができる。</li><li>・地域の協力による教育資源の有効活用が図られる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教員数が少ないため、教員一人当たりの業務量が増える（2学年の授業準備）。</li><li>・校外の研修会等に参加する場合、行内の指導体制が作りにくい。</li><li>・コロナ対応で職員が休む場合、学校の運営体制が作りにくい。</li></ul>



## 2 学校施設と児童数・教員数

数字は特別支援学級在籍児童を含む

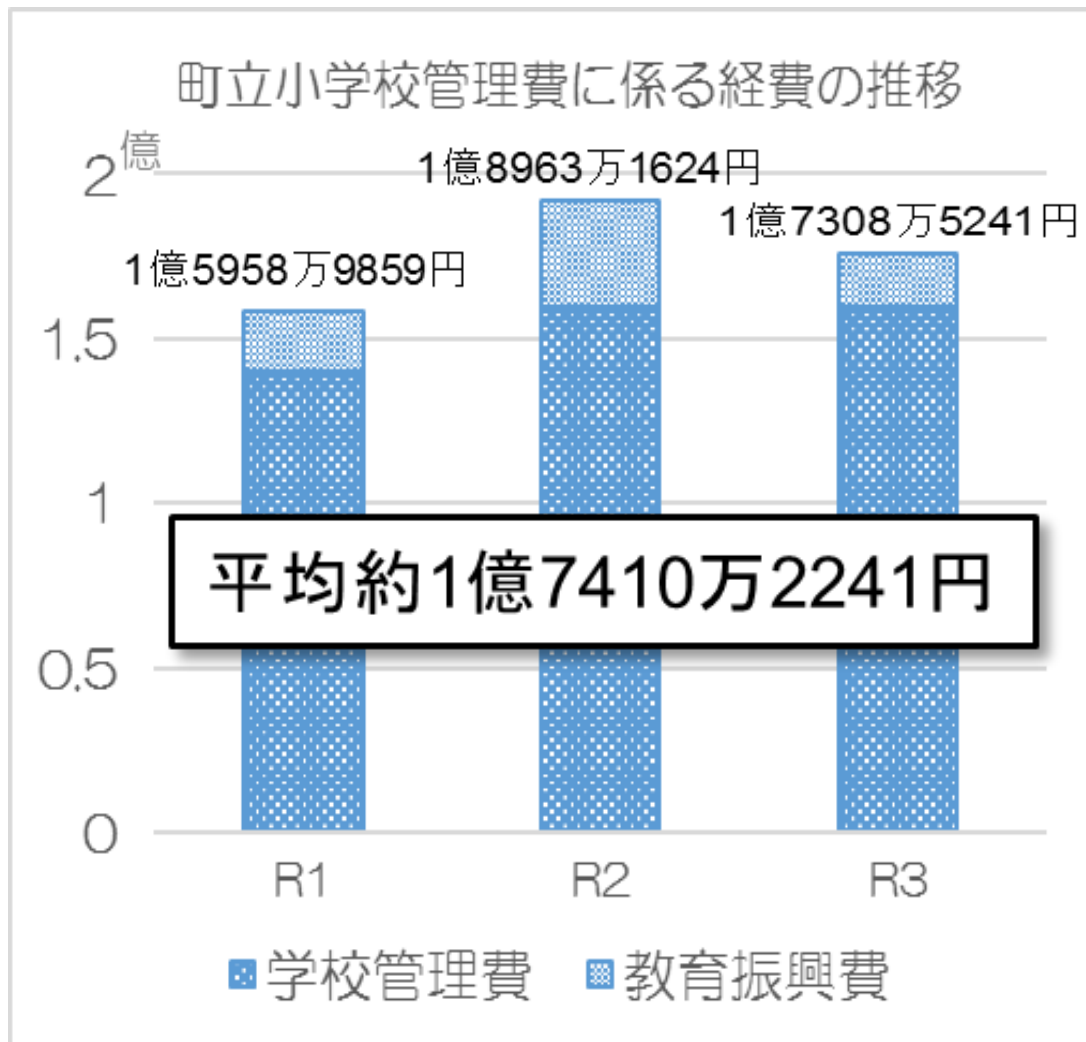
学校 (改築年度)	建築 年数	改築当時		現在 (令和4年5月1日)			6年後 (令和10年)			
		児童数	通常 学級数	児童数	通常 学級数	教職員数	児童数	通常 学級数	教職員数	備考
西里小 (S60)	36年	250	8	84	6	11	42	5	8	3・4複式
溝延小 (H4)	29年	256	11	69	6	11	60	5	8	3・4複式
谷地中部小 (H12)	20年	410	13	384	14	26	256	10	15	1～3年 単学級
谷地南部小 (H9)	24年	358	12	159	6	12	146	6	12	学年 単学級
谷地西部小 (S63)	34年	124	6	32	3	6	21	3	6	完全複式
北谷地小 (H7)	26年	179	7	66	6	11	32	4	7	3・4複式 5・6複式
河北中 (S54)	43年	860	21	444	15	26	408	14	24	1年：5学級 2年：4学級 3年：5学級

※6年後の児童数は見込み、学級数は、現行制度が継続した場合のものです。

※教職員数（校長、教頭、教諭、養護教諭）は本務者のみを計上しています。また、6年後の教職員数については、通常学級のみを対象にしています。



### 3 町立小学校管理運営費に係る経費の推移



小学校の管理運営に、毎年、約1億5千万円以上を支出している。

電気・水道、暖房燃料、電話・通信、警備・保安等の委託、施設修繕の工事、臨時職員給与等の管理費・人件費が多い。



## <グループ討議について>

### テーマ1

これからを生きていく子どもたちにとって学びの環境とは  
(適正規模・適正配置について)

### テーマ2

小学校のあり方について検討すべき  
課題は



# グループ討議の進め方

## <進め方>

- 1 テーマについて意見を付箋紙にメモする。  
※ 付箋紙 1 枚に 1 意見
- 2 貼りながら発表する。  
※ 同じ意見がでたら私も～
- 3 意見を分類して、小見出しをつける。
- 4 発表して全体で共有する。  
※ あとで時間を設定します

## <ルール>

- 手短かに話します。  
※ 多様な考えに触れる時間を確保します。
- 他者の発言はうなずいて聞きます。
- 意見を否定しません。  
※ たくさんの考えを共有します。





## <今後のスケジュール>

### ○地区懇談会

#### 【開催予定】

R4	9月	谷地西部小	10月	北谷地小
	11月	溝延小	12月	西里小
R5	1月	谷地南部小	2月	谷地中部小
	3月	第3回検討委員会		

#### 【内容】

- ・学校から
- ・アンケート調査、検討委員会の報告
- ・意見交換



町内小学校の今後のあり方や将来像について

# アンケート結果報告

**ご意見ご感想はこちらから  
(広報かほくと同じQRコードです)**

「小学校のあり方や将来の学校を検討  
するためのアンケート」の調査結果につい  
て



河北町教育委員会学校教育課

<https://forms.office.com/r/gC9myPWKPE>



## これまでの経緯①

### ＜平成29年度「小学校の将来を考える会」の開催＞

町民人口の減少に伴う児童生徒数の減少は緩やかに進み、今後小学校の規模が縮小していく中、これまでのような教育活動を展開していくことが困難になっていく学校が現れることが予想される。

こうした中、第2次河北町教育振興計画を平成28年度に策定し、その中で小学校就学年齢人口の動向を見ながら今後の教育行政の方向性を定めるために、「小学校在り方検討委員会（仮称）」を組織し学区再編の必要性、児童数や学級数の不均衡の解消、通学距離の適正化等について検討することとした。

計画に基づき、平成29年度に、「小学校の将来を考える会」を設置した。教育委員会では、河北町の現状をご説明し、河北町における小学校の将来像について、多くのご意見、ご提言をいただいた。



## これまでの経緯②

### <議論の内容>

～学びの環境について～

- 1 学年 2 学級以上が理想
- 「地域」との関わり、特に「地域の行事」、「伝統文化の継承」等が失われていく事への不安

～統廃合について～

- 「地域の理解」、「その学区の子ども達、地区民が望んだ上で」、「地域に統合の決定を委ねる」
- 行政主導ではなく、地区民からの声を重視して進める
- 合併する場合は、学校数は別として、吸収合併ではなく、新たな小学校を作り、町内全体が同時期に統廃合してほしい



## これまでの経緯③

### ＜見えてきた課題に対する教育委員会の取組み＞

- 1 地域の学校統合に対する意識の醸成が図られるまでは、統廃合は進められないということから、少人数学校・学級のメリットを最大限に活用した教育を展開すること  
地元からの統合に対しての要望、意見をいただくまでは、小規模であることのメリットを最大限に生かし、児童への教育を充実させること
- 2 小学校の適正規模・適正配置、少人数学校・学級のデメリットについて、「児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましいものと考えられる」という文部科学省の考えを周知、町民からの理解を得ていかなければならないこと



## 近年の状況

- ・ 急激な少子化における教育環境の変化
- ・ 各校の児童数の格差（標準 12学級以上18学級以下）
- ・ 学校教育活動の維持、教員数の配置
- ・ 学校施設の状況



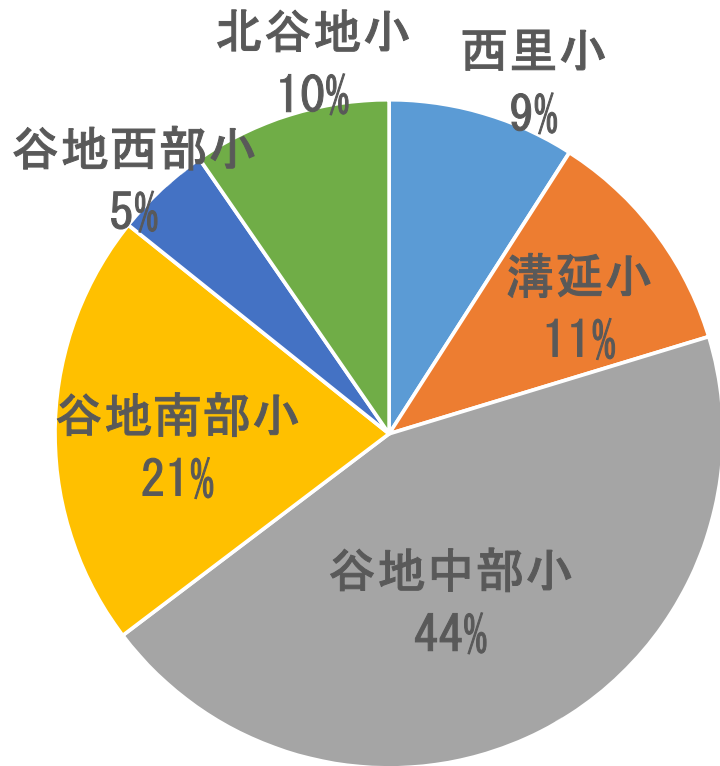
### 河北町立小学校の在り方検討委員会の設置（5月30日）

#### < 諮問 >

- 1 河北町立小学校の適正規模・適正配置について
- 2 小学校のあり方や将来の学校像等に対する本町の基本的な方針について



## アンケートの実施対象者について



- 実施期間 R4年7月1日～7月31日
- 実施対象
  - 1 就学前のお子さんのみを持つ保護者
  - 2 小・中学校で一番上のお子さんを持つ保護者
  - 3 町内各区3名（各区长より抽出）
- 調査方法 対象1・3 無記名 選択式・記述式  
調査用紙回答  
対象2 無記名 選択式・記述式  
オンライン回答
- 調査数1409件
  - 回答件数（率） 930件（66.0%）
  - 回答者割合
    - 実施対象1 調査数218件 回答件数202件（92.6%）
    - 実施対象2 調査数867件 回答件数461件（53.2%）
    - 実施対象3 調査数324件 回答件数267件（82.7%）



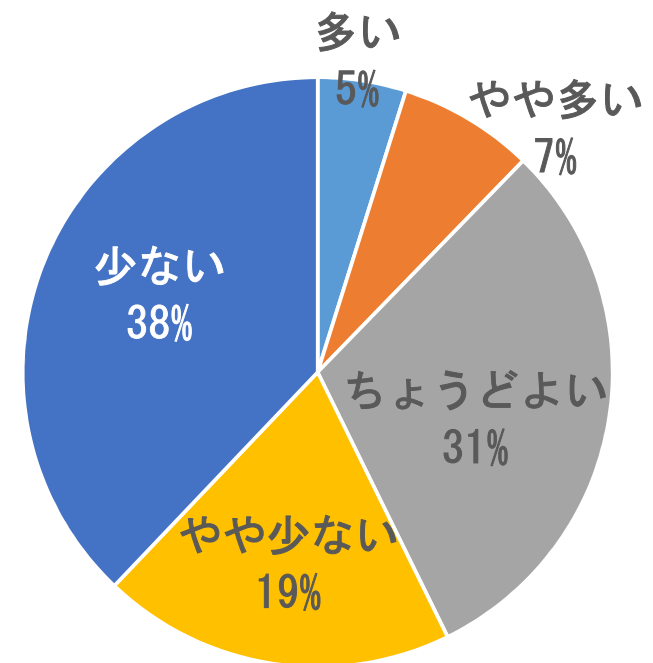
問 あなたの居住区小学校の現在の児童数について、どのようにお考えですか。  
(「令和4年5月1日現在の河北町立小学校の児童数」を参考にしてください)

【1つ選択】

### 河北町立小学校の児童数

基準日 R4.5.1

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	学校毎合計
西里小学校	17	11	14	11	22	9	84
満延小学校	12	7	14	10	12	14	69
谷地中部小学校	75	61	75	56	57	60	384
谷地南部小学校	24	27	26	22	34	26	159
谷地西部小学校	4	4	7	5	6	6	32
北谷地小学校	7	12	10	10	17	10	66
学年毎合計	139	122	146	114	148	125	794



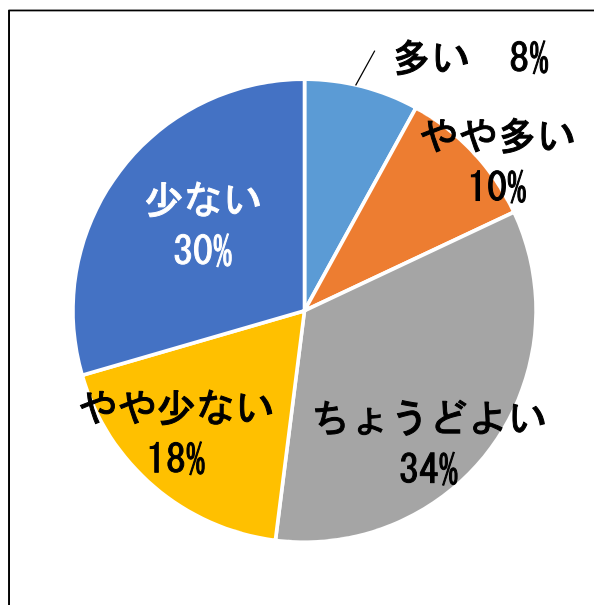




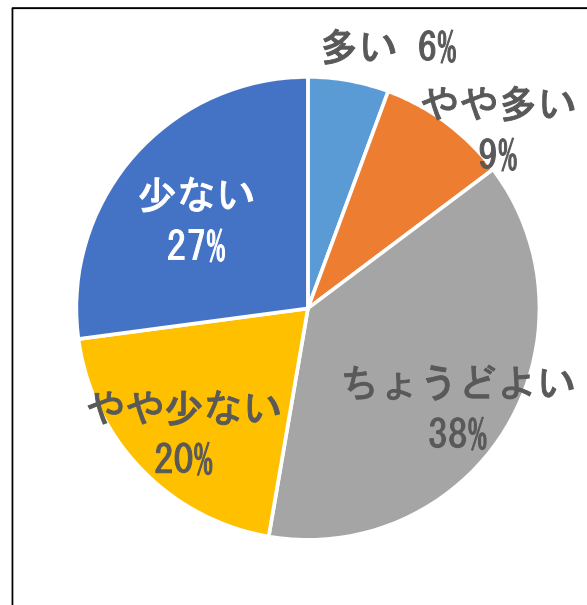
問 あなたの居住区小学校の現在の児童数について、どのようにお考えですか。  
(「令和4年5月1日現在の河北町立小学校の児童数」を参考にしてください)

【1つ選択】

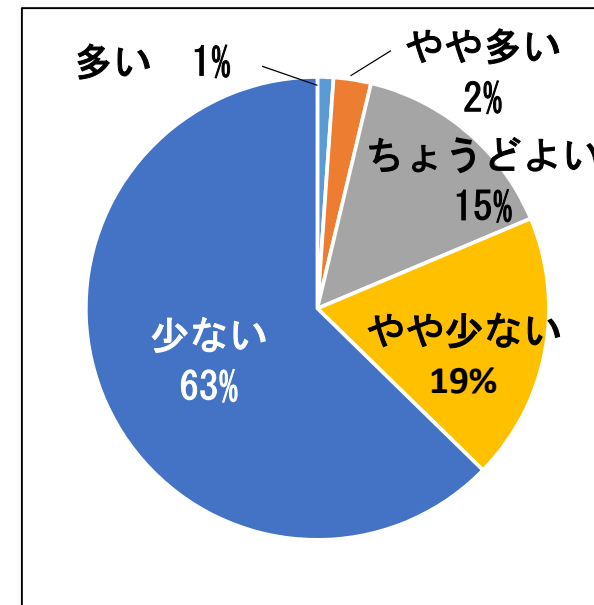
<未就学児保護者>



<小中学校保護者>

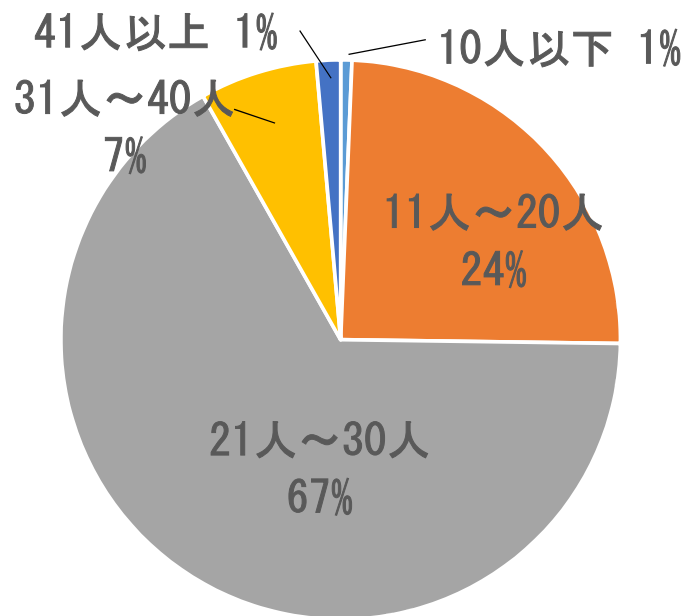


<地域の方>





問 小学校の1学級で望ましい児童数は、何人程度とお考えですか。【1つ選択】



### 学級編制について

(令和4年度「教育山形」さんさんプラン)

#### ○通常学級

小1~小3は1学級 18人~33人

【国35人以下】

小4~中3は1学級 21人~33人

【国40人以下】

※子どもの社会性を育む観点から下限を設定している。

#### ○特別支援学級

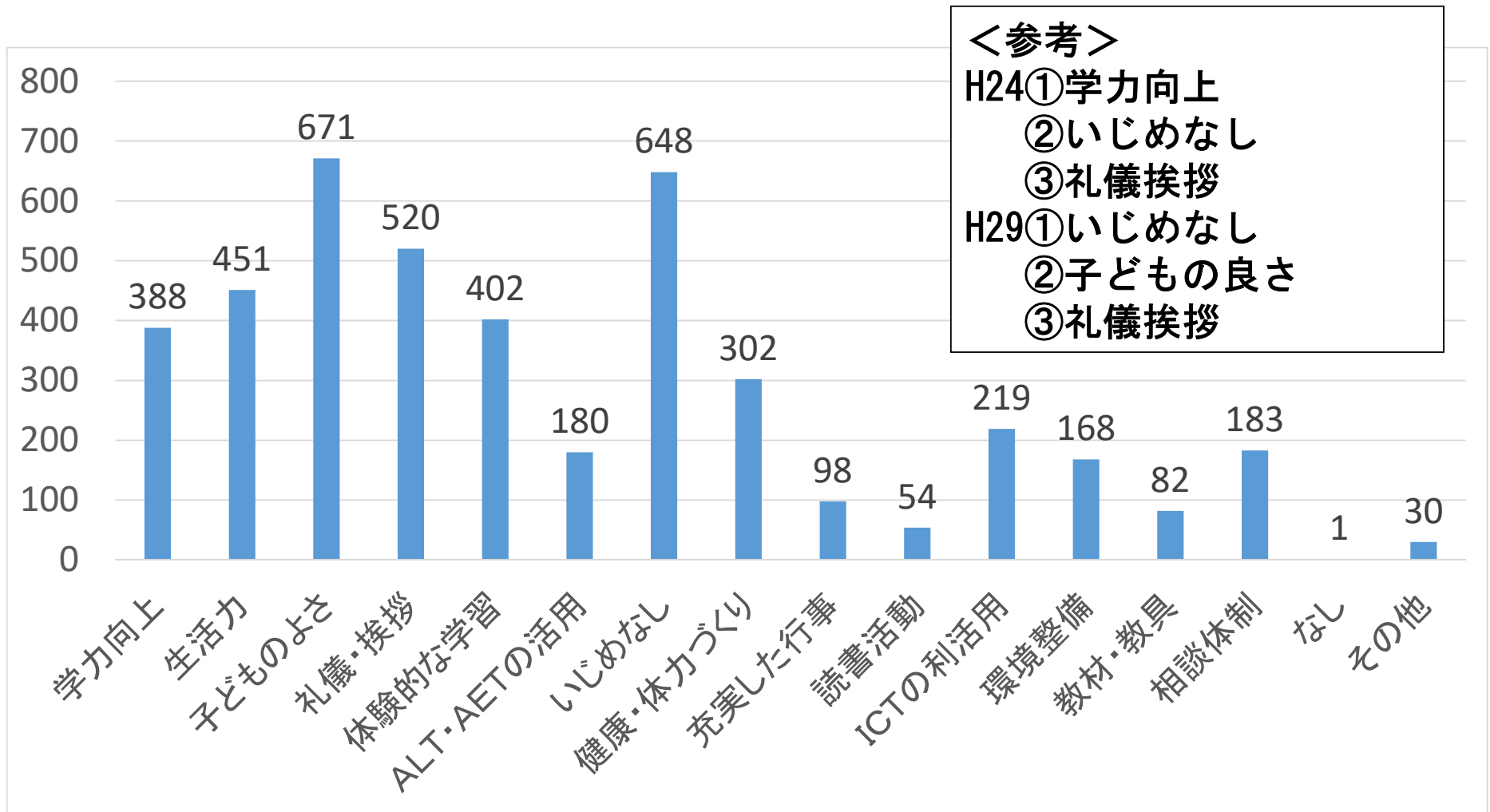
学級編制基準の引き下げ 6人

【国8人】

※学級の人数が7~8人の場合は1学級増加で常勤の先生を配置



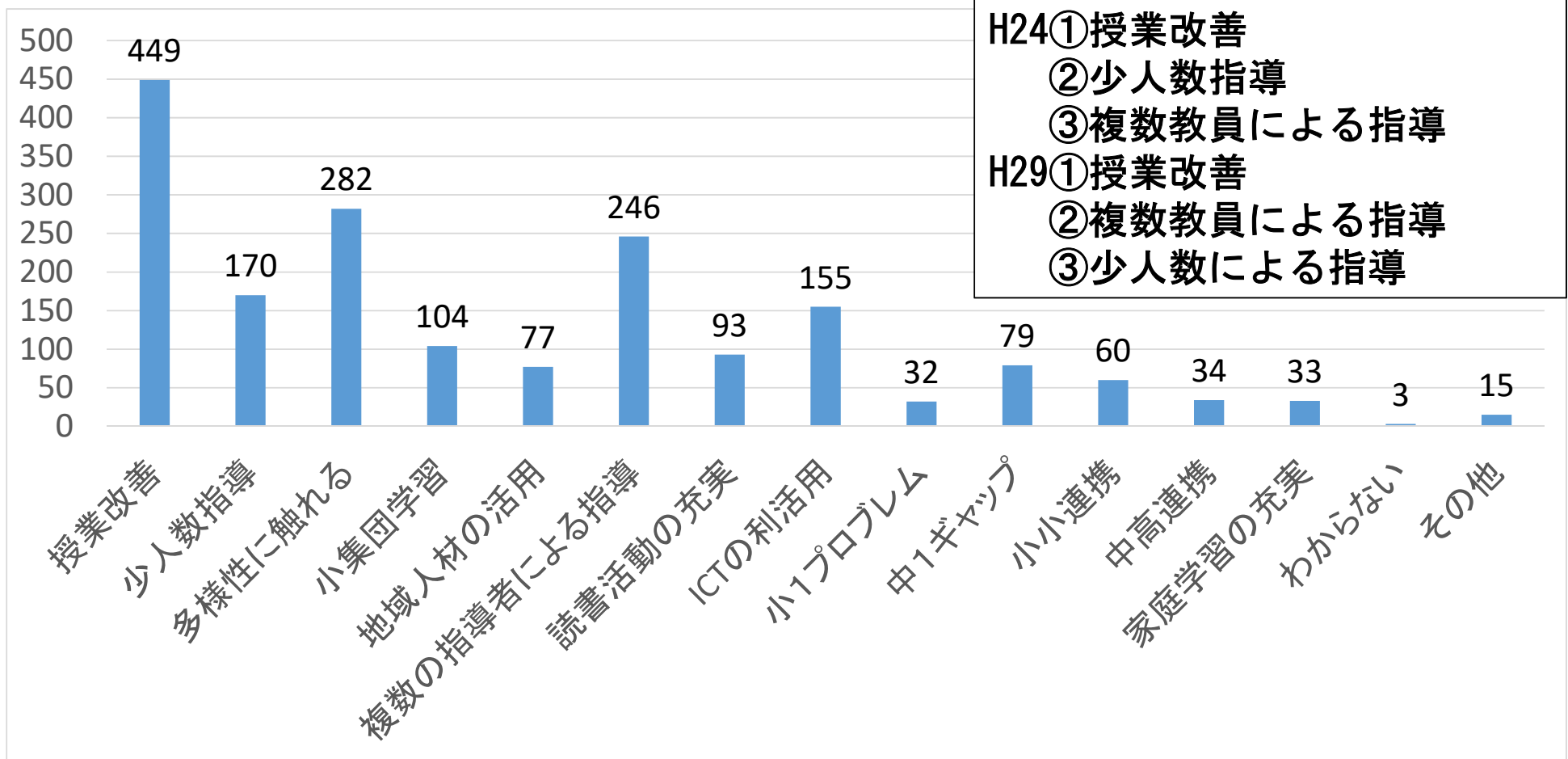
問 子どもにとって、望ましい学校はどんな学校だとお考えですか。  
【5つまで選択可】





## ＜未就学児・小中学校対象＞

問 学校教育で「学力」を高めるためにどのような取り組みが重要だと思いますか。【3つまで選択可】

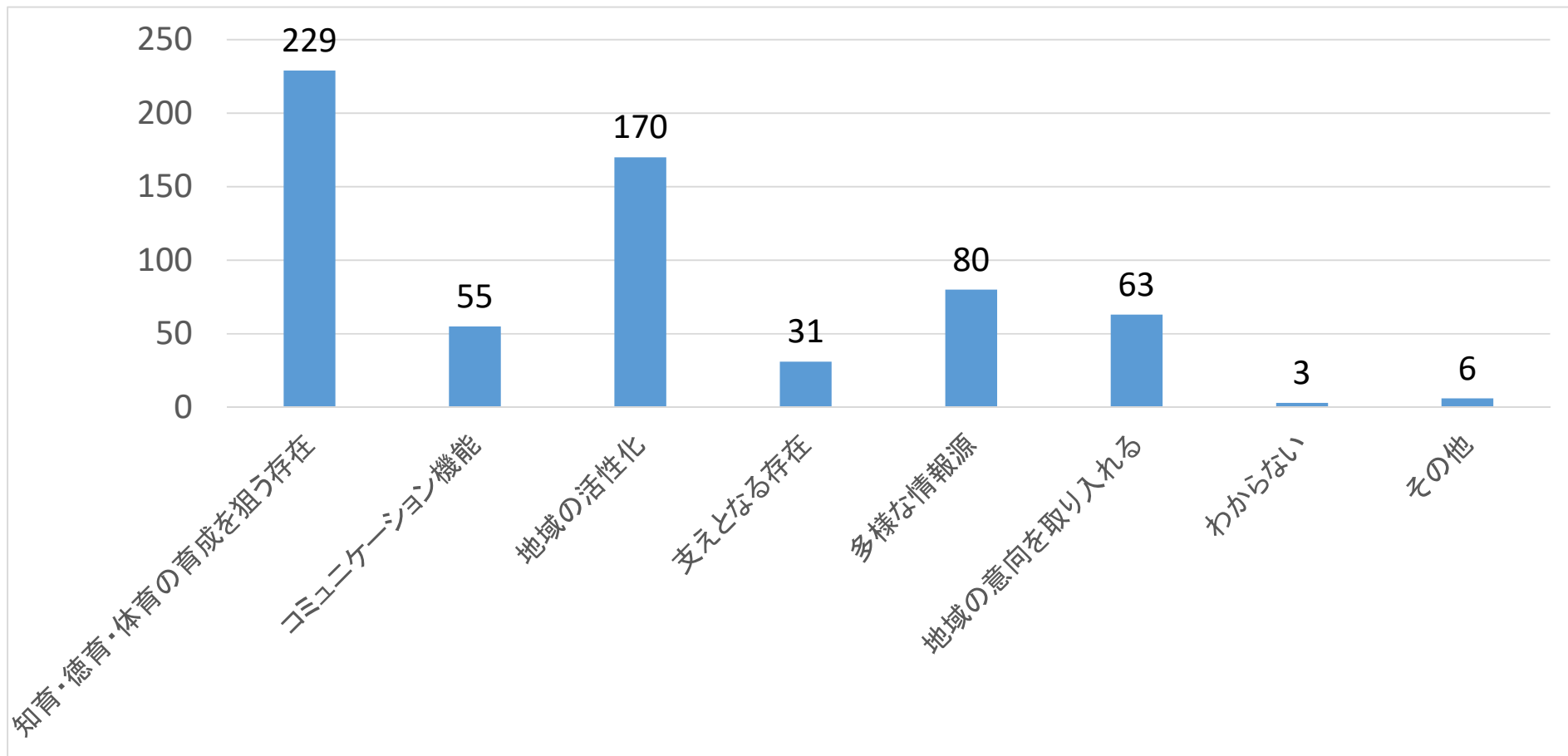




## ＜地域の方対象＞

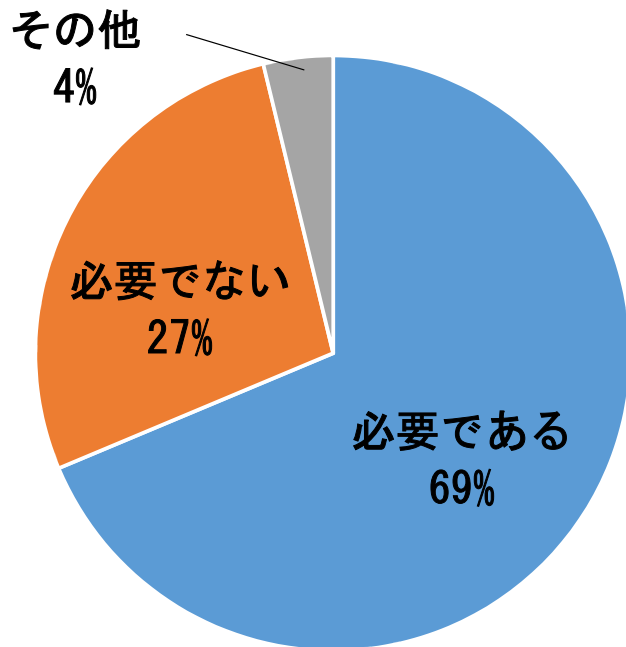
問 あなたにとって地域の小学校はどのような存在とお考えですか。

【3つまで選択可】



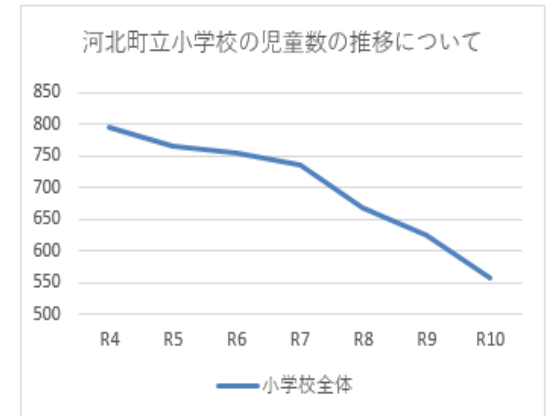


問 町内の小学校が将来より望ましい教育を行えるようにするために、学区の見直しや小学校の統廃合等に向けた検討が必要だとお考えですか。（「今後の河北町立小学校ごとの児童総数の推移」を参考にしてください）。【1つ選択】



今後の河北町立小学校ごとの児童総数の推移 基準日 R4.5.1

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
西里小学校	84	85	73	65	57	54	42
溝延小学校	69	68	71	67	62	62	60
谷地中部小学校	384	367	376	373	331	304	256
谷地南部小学校	159	152	152	153	149	148	146
谷地西部小学校	32	30	30	31	27	23	21
北谷地小学校	66	63	53	47	42	33	32
小学校全体	794	765	755	736	668	624	557



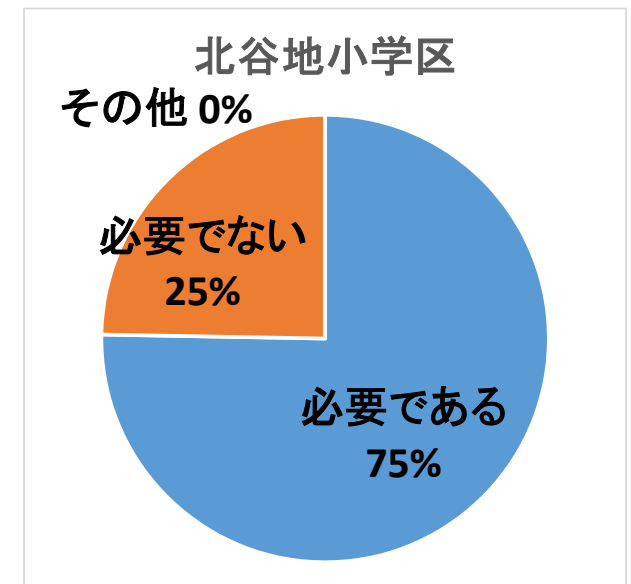
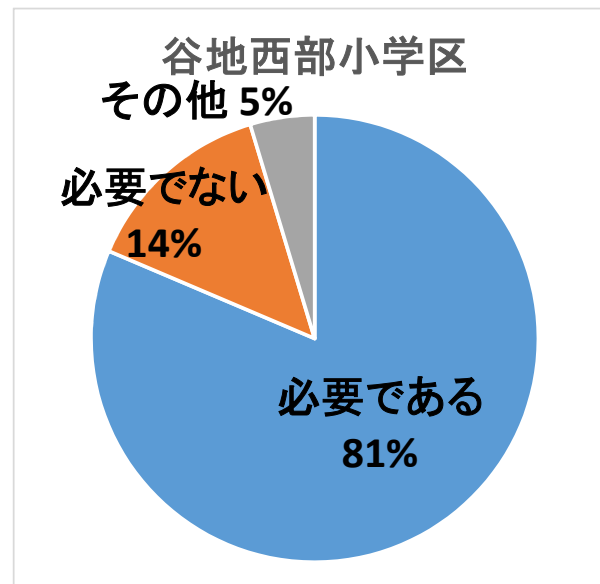
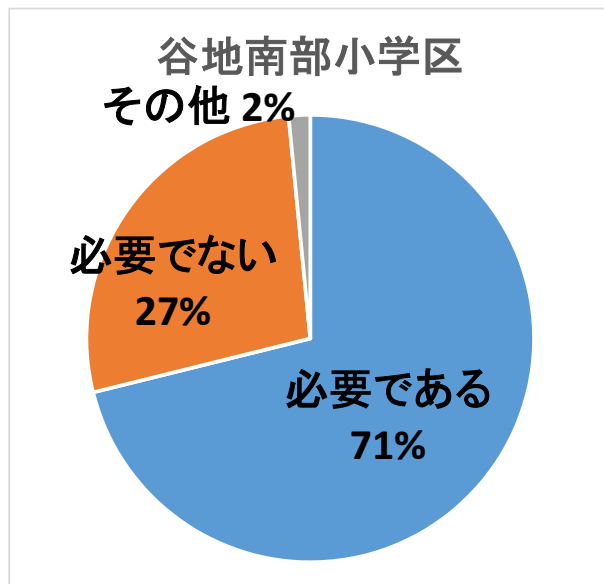
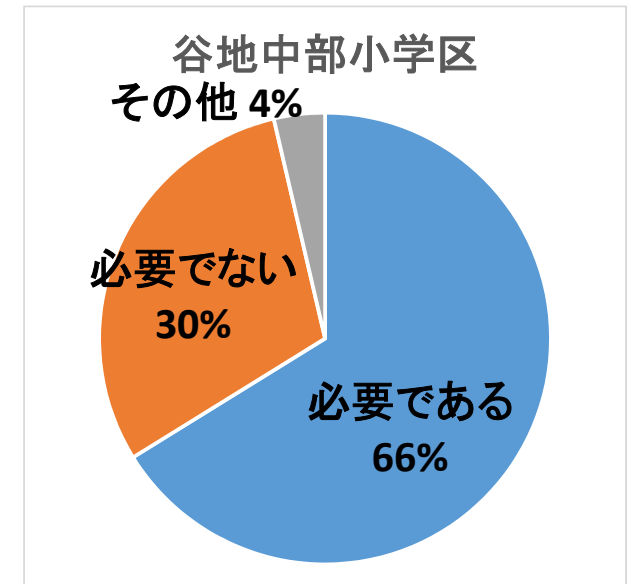
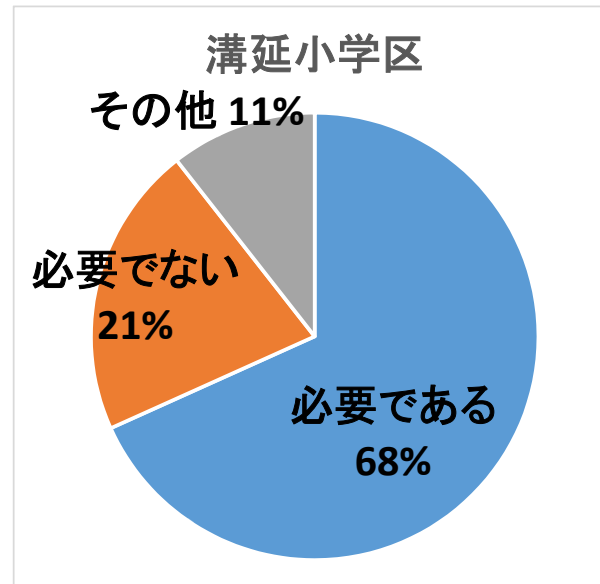
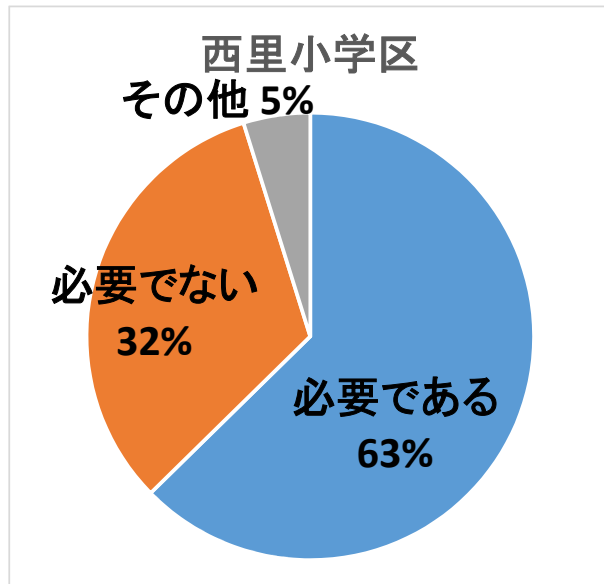
○表の色付き（太字）のところは複式学級の出現の可能性を示します。北谷地小は令和6年度から西里小は令和8年度から、溝延小は令和9年度から複式学級となる可能性があります。  
 ※複式学級とは、他の学年の児童と合わせて16人以下の時は、1学級となり1人の教師で2つの学年を指導します。ただし、1年生を含むときは8人以下となります。

<その他の意見>

- ・ わからない
- ・ 学区の見直し
- ・ 義務教育学校でアピール
- ・ 児童数に差がありすぎる
- ・ 検討するためのデータが足りない
- ・ 人数によるメリット、デメリットは
- ・ 統合は必要だが、地区に学校は必要に問題がある
- ・ 町が決めること
- ・ 少人数と統廃合を一緒に考えること
- ・ 人数で考えると1校、しかし地域とのかかわりも検討すべき
- ・ 子どもの学習環境が優先だが、地区に学校は必要である
- ・ 他市町と連携する
- ・ 通学距離が問題

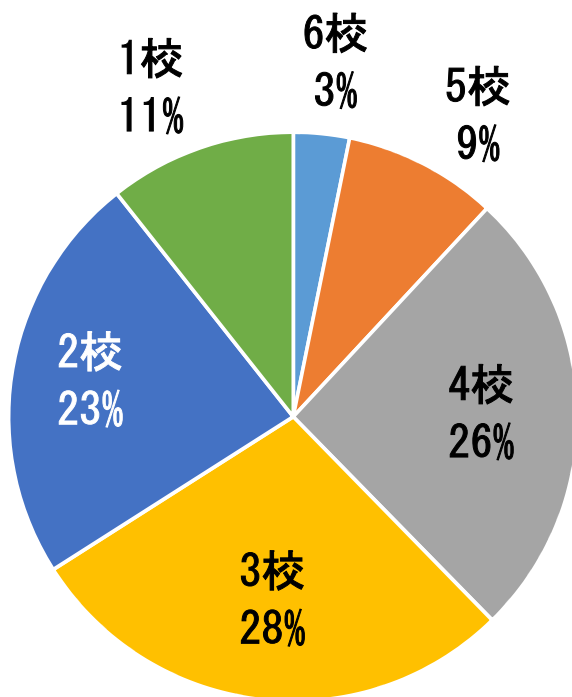


## 幼・小中・地域の学区ごと集計





問 「必要である」と答えた方に伺います。河北町全体で将来の学校像は何校と考えますか。また、その理由を書いてください。



6校：学区の見直し 人数の平均化 少人数学級編制 特認校 6校でも少ない 地域に学校は必要 学区の見直し

5校：谷地西部小と北谷地小の統合 徐々に合併 50人以下は合併複式解消 通学距離 小中のギャップ 学校の維持費 谷地中部小と谷地西部小の統合

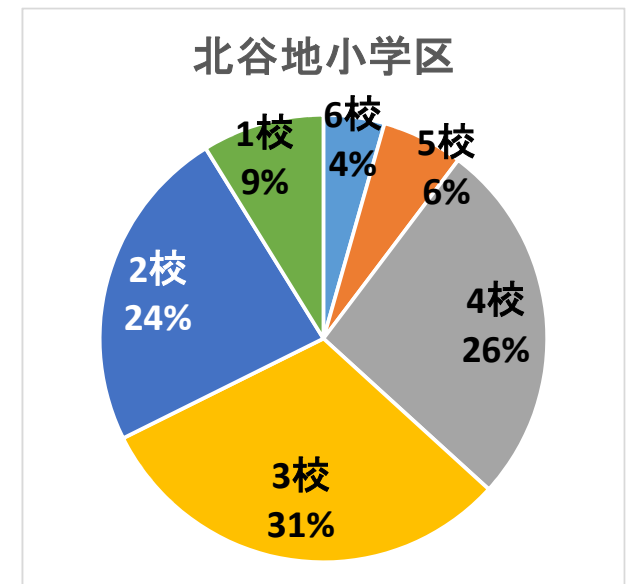
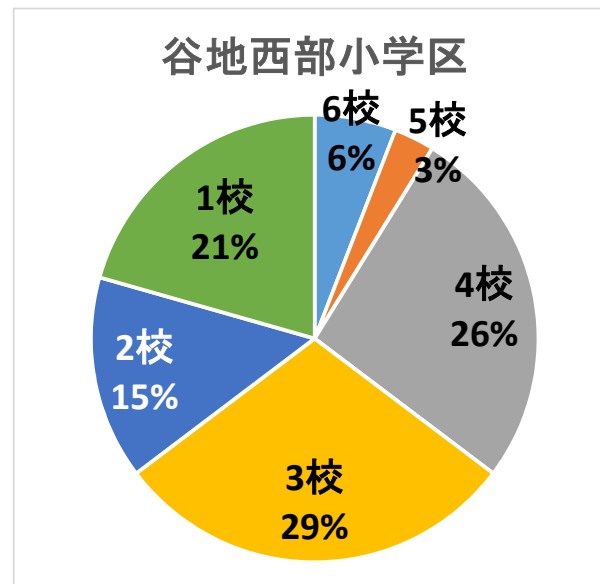
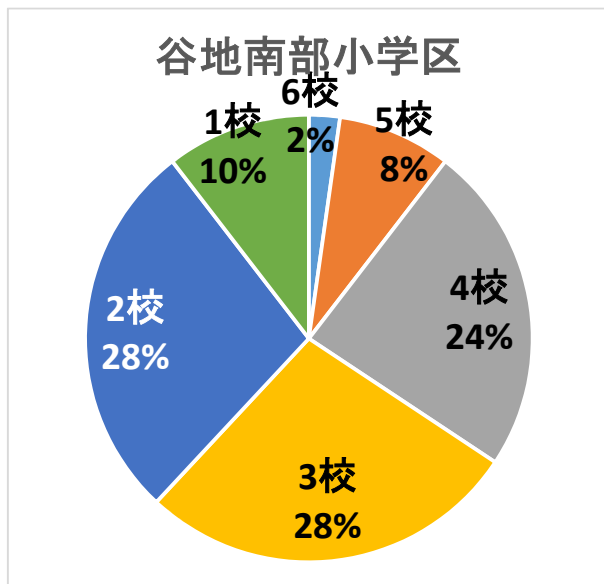
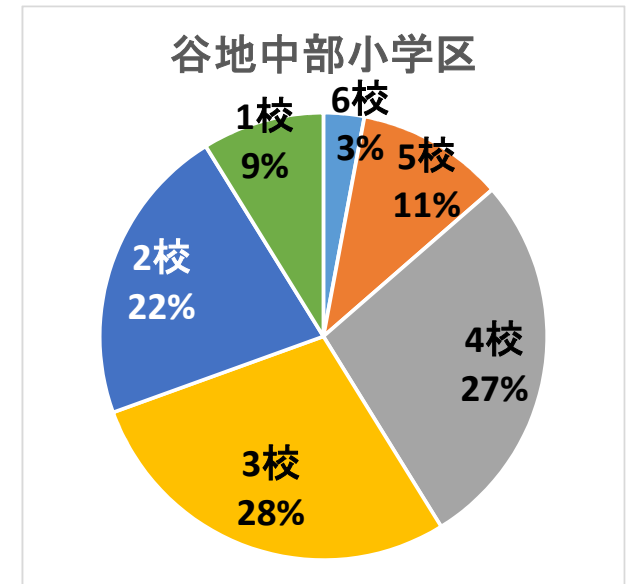
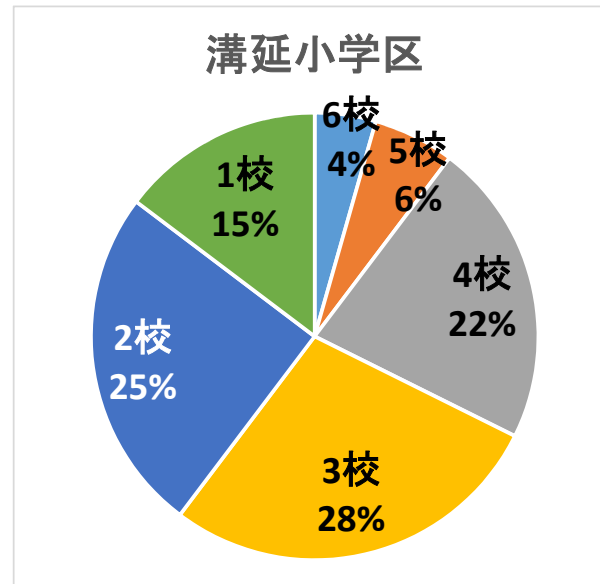
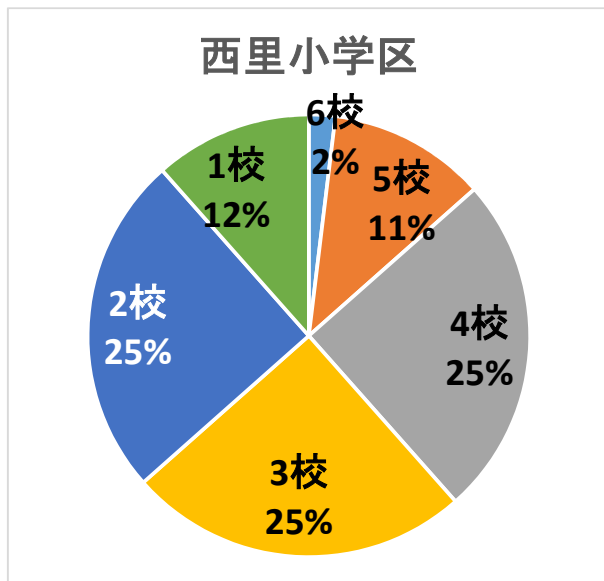
4校・3校・2校：1校

地域性を考慮した統合 クラス替えができる学級規模 人間関係の固定化 複式の解消 人数の偏りをなくす 多様性を高める指導 スクールバスの活用 教育資源の集中（人・物・金） 施設の維持管理費 集団での学びの確保 互いに高めあえる環境を作る 1学年2学級は必要 同一学年での教育活動の充実 幅の広い人間関係 中学校進学への不安 小中一貫校（中学校建設に合わせて併設） 義務教育学校 PTA活動 切磋琢磨 社会性の向上 止まらない少子化 将来的には1校 令和20年を見据えて



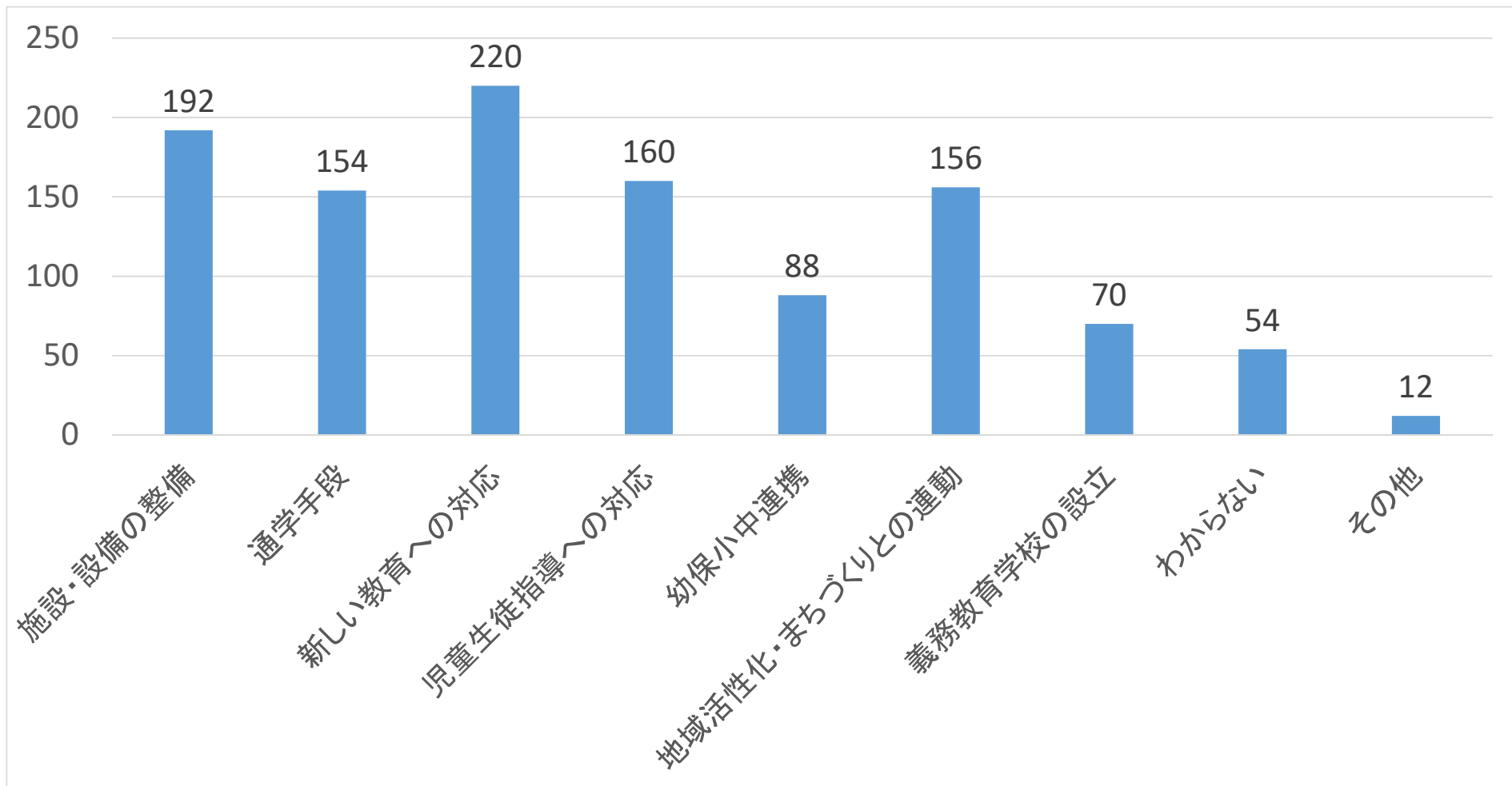


# 幼・小中・地域の学区ごと集計





問 「必要でない」と答えた方に伺います。これからの町内小学校の望ましいあり方を検討するために、特に重視すべき点はどのようなことであるとお考えですか。  
【3つまで選択可】





問 その他、河北町立小学校のあり方全般についてお考えがあればお聞かせください。

<行政・教育行政に関すること>

魅力ある街づくり・転入者増の取組（１９） 人口減少・少子化対策（１２） 子育てしやすい環境を（８） 将来を見据えた統合（２） 若い方々の考えに沿った政策決定  
河北独自の教育政策 学童の連携・充実（２） 行政のこれまでの対応・検討の遅れが問題（８） 行政主導で決定する 維持管理費（４） 教育予算の集中（５）  
費用対効果 小学校の活用法（４） 図書館の充実 放課後塾 家庭支援 特認校 若い方が議員

<教員等に関すること>

先生方の研修機会の充実確保（６） 先生方のゆとり（適正規模・適正配置）（１１）  
差のない学習内容・指導 業務改善・軽減（４） 先生方の業務量のバランス（２）  
子ども好きな先生がたくさんいる学校 専科教員の配置 学校組織の充実



問 その他、河北町立小学校のあり方全般についてお考えがあればお聞かせください。

<学校教育に関すること>

社会性・多様性を育む教育（26） 楽しい・いきいき・のびのび育つ教育（24）  
個に応じた指導の充実（21） 主体性を引き出す・伸ばす教育（6） 互いに磨きあ  
う教育（6） 魅力ある学校づくり（7） 体験的な学習・課外活動の充実（6）  
自己肯定感を高める教育（2） 子供の実態に合った教育（2） 地元の良さを生かす  
教育 時代の変化に対応できる教育（6） 少人数教育 前例にとられない取り  
組みを いじめ防止、安心・安全な学校（38） 発達障がいへの理解・対応（5）  
平等な学校（2） 基礎学力が身につく学校（2） ICTの活用・充実（12） 学力向  
上・探究学習の充実・協働学習の充実（7） 複数の指導者による指導体制 補充的  
な学習 グローバル教育・異文化交流（3） 語学学習の充実（5） キャリア教育  
の充実（3） 授業参観を増やしてほしい（2） 社会に開かれた学校 部活動の時  
間 土曜日授業 学校行事の減少 学校間・学年間交流（36） 学年ごとの活  
動を充実（6） 道徳教育の充実 思いやりを育む教育（5） 挨拶・礼儀を教える  
（4） 郷土愛の醸成（2） 伝統行事・地域との連携（8） 中学生の地域貢献活  
動の推進 厳しさだけの学校では成り立たない 町立学校の良さを発信 熱中症  
対策・紫外線対策 幼保小の連携 学校・家庭・地域の連携 体力向上



問 その他、河北町立小学校のあり方全般についてお考えがあればお聞かせください。

<統合方法に関すること>

早期対応・統合（27） 前向きに検討（2） 統合しない選択肢はない メリット・デメリットを丁寧に説明（18） 慎重に検討・議論（5） 地域の元気・学校づくり・連携・理解（13） 地域の理解・若い方の意見を（3） 歴史的な背景を重視  
小中一貫校・義務教育学校（8） 今後を見据えて1校に（6） 小中併設（2） 新校舎建設（2） 町の総力を挙げた学校 適正学校・適正規模（4） 教育の機会均等（3） 学校間の学力差（3） 時代に合ったあり方 複式の解消 子どもの環境を考えた環境づくり（8） 小規模校の統合（3） 児童数の多い学校から小規模校に異動する 2学級を確保する 町の規模に対し学校数が多い（2） 1町1校にはしてほしくない 子供の意見も聞く・子供の立場で考える（4） 統合される学校への配慮（2） 学区の再編成（16） 学区廃止・学区外就学（4） 統合後の地域連携を継承 谷地西部小・谷地中部小の統合（2） 谷地中部小・谷地南部小以外の統合 谷地中部小・谷地西部小・北谷地小と谷地南部小・溝延小・西里小の統合 谷地西部小・西里小・北谷地小の統合 谷地高との連携、谷地高を含めた再編（2） 西里小・谷地西部小・北谷地小の統合、溝延小・谷地南部小の統合 学校の現状維持（2）



問 その他、河北町立小学校のあり方全般についてお考えがあればお聞かせください。

<教育環境に関すること>

通学・通学距離の不安、安全確保（４ １）スクールバスの活用（６）学区外通学（２）  
小中の環境の変化に対する対応（７） 少人数でより主体的になれる環境づくり  
教員の目が届きやすい人数 少人数学級も多学級もよさがある（９） 教育活動の  
学校間の差・平等な教育環境（６） 教育の機会均等（２） 学校規模で取組める運  
動に差がある 学年ごと授業が大切（２） 友人と切磋琢磨できる環境づくり（２）  
６年間同じ学級では、幅ができない たくさんの友人と知り合えたほうが良い  
複式のよさ（３） 複式の解消（３） のびのび育つ環境・力を発揮できる環境づくり  
（３） 教育相談体制の充実（４） 幼稚園保育園の統合に合わせた取組み  
教育資源の集中（２） 子どもが地域に密着し交流できる環境づくり おいしい給食  
給食センターの併設

<その他>

家庭教育の充実（２） 学校・家庭の連携強化 近くに小学校がないのは不便  
小学校入学を楽しみにしている 他地区の児童もどんが祭りに参加させてほしい  
タブレットの弊害（３） 小規模だと保護者の負担増になる 地域の良さを生かす  
豆奴など他地区の子供に広げる 学校は様々対応いただいている  
地域間交流（２） 小学校は地域の学校



# 各地区懇談会概要



## 谷地西部小学校

令和4年9月29日（木）

### <ご意見>

- ・現状の複式でよい。子どもの自主的な姿が見られる。
- ・統合の方向で見通しを持つのが良い。
- ・多人数へのギャップ（小学校から中学校へ）がある。
- ・低学年の複式に対する不安がある。
- ・先生方の負担増、教職員の減、行事削減になっている。
- ・地区に学校がなくなることへの不安がある。
- ・小規模と大規模どちらにもメリットがある。
- ・複式だから統廃合を考えるというのは疑問である。
- ・統廃合するのであれば1校にする。小中一貫校にする。
- ・3～4校にする。他校との交流を行うのが良い。
- ・町の方針を示したほうが良い。





## 北谷地小学校

令和4年10月28日（金）

### <ご意見>

- ・ 町は、なぜこれまで何もしなかったのか。早急に検討を進めてほしい。
- ・ 子どもに不利益がないように配慮してほしい。
- ・ 統廃合は避けられない。思い切って1校にするのが良い。
- ・ 登下校の安全対策をする。スクールバスを無償化する。
- ・ これから入学する保護者の意見を聞くべきだ。
- ・ 町の政策（子ども増加）を充実させてほしい。
- ・ 母校がなくなるのはさみしい。
- ・ 統合はやむなしと思うが、学年に1教員をお願いしたい。
- ・ 少人数でも地域に学校を残してほしい。町からは、複数の案を提示してほしい。



### 溝延小学校

令和4年10月25日（金）

#### <ご意見>

- ・PTAの維持が難しい。
- ・少人数できめ細やかな指導をしてもらえる現在の教育環境が良いと感じている。
- ・小学校から中学校への環境の変化が不安である。
- ・地域の方の中に、地域に小学校がないとだめだと感じている人がいる。
- ・少子化による統廃合をするのかしないのか、するとしたらいつなのかをはっきりさせることが大切である。
- ・地域の方の協力で学校を助けることができる。
- ・多人数の団体生活で子どもが得られるものは多く、教員の負担も減る。
- ・地域の文化について学校で学ぶ機会があってもよい。
- ・町としての適正規模や配置について示してほしい。



## 西里小学校

令和4年12月16日（金）

### ＜ご意見＞

- ・ 学校家庭地域が一体となって小学生らしさを求めていく。
- ・ 経済的な面では1校にするのが良い。
- ・ 複数校による学校行事を行うなどの工夫が考えられる。
- ・ 地域に子どもの声が聞こえるようにしてほしい。
- ・ 地域行事の継承が不安である。
- ・ 将来の人数を考えると仕方がない。そうせざるを得ない。
- ・ 長いスパンで考えるのであれば1校でもよい。
- ・ 通学手段の検討を行ってほしい。
- ・ 安定した学びの環境を整理すべき。
- ・ 少人数と多人数のメリット・デメリットを整理すべき。
- ・ 校舎の耐用を年数の問題と学校数の問題とシステムの問題が出てくる。河北独自の教育を考えていくべきだ。
- ・ 子どもの数を増やすための住宅政策が必要である。



### 谷地南部小学校

令和5年1月20日（金）

#### <ご意見>

- ・ アンケート結果を町民が見ることができるようにしてほしい
- ・ 河北町は1校の形にできる。河北のメリットをもっとアナウンスしてほしい。
- ・ 町としてどんな教育をしていくかで何校にするかを考えることができる。
- ・ 1校に統合するしかないと考える。半端な合併は分断を招く
- ・ 学校家庭地域が子どもにどんな教育をするかが大切である。
- ・ 周知方法をもっと考えてもらいたい。社会教育、地域振興まで考えた提案が必要である。大きい集団に少数が吸収される不安やさみしさを考慮することが大切。
- ・ 1校にするのであれば河北町として力を入れた学校にする。
- ・ 参加人数が少ない。特に若い世代の話をよく聞いてほしい。



### 谷地中部小学校

令和5年2月17日（金）

- ・校舎が新しいので、谷地中部と谷地南部の2校に集約するのが良い。
- ・少人数のメリットデメリットを考えることが必要。
- ・児童数が減ると新しい活動が生まれない。
- ・教育に力を入れる町としての教育の質・指導法を高める。
- ・複式学級の増加が、教員の負担過重や教育の質の低下を招く恐れがある。
- ・老朽化で修理修繕費等による町の財政負担。できるところから合併を進め、総合計画の完成年度で統合が完成するように。
- ・町のサイズ感を生かした統合を進めるべき。
- ・学校づくりは持続可能な町づくりという視点を重視して。
- ・地域の小学校をなくすことには慎重になるべきである。
- ・子どもたちをどのように育てていくかが大切である。
- ・地域文化の継承について対策を講ずるべき。



## <これまでの動き>

### ○地区懇談会

#### 【開催】

R4 9月29日	谷地西部小	10月28日	北谷地小
11月25日	溝延小	12月16日	西里小
R5 1月20日	谷地南部小	2月17日	谷地中部小

#### 【内容】

- ・ 学校から
- ・ アンケート調査、検討委員会の報告
- ・ 意見交換

## <今後の動き>

R5 3月27日 第3回検討委員会 【座談会を受けて】  
新年度 検討委員会を数回開催  
年度内に答申予定